

関西支部だより

時習館

かんさい

自由な発想で

第 31 号

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-14-1

山本通産株式会社内

時習館同窓会関西支部発行

TEL (06)6252-2131

FAX (06)6261-2020

E-mail ishikawa@ytc-j.co.jp

振替口座番号 00960-3-32608



会場のホテルグランヴィア京都（外観）

関西支部総会開催 2017年6月18日(日) 11時30分～15時

時習館同窓会関西支部の第51回総会ならびに懇親会を、来る6月18日(日)「ホテルグランヴィア京都」にて開催いたします。10時30分から受け付け開始、11時30分から総会に引き続き懇親会を行います。

最近話題のマンガ、アニメの役割「自由な発想」をテーマにし、新しい未来を築くきっかけが得られればとの願いを込め、京都の地に集まることにしました。皆さんの最先端での活躍など「自由」に語り合えればと思います。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

記

と き：2017年6月18日(日) 11時30分～15時

と ころ：ホテルグランヴィア京都

会 費：10,000円（学生 3,000円）

本誌では京都開催にちなみ「自由な発想で」をキーワードにして編集しました。

(注) 年号表記は西暦を基本とします。状況に応じて和暦も随時、使います。(編集部)

もくじ

	石川吉之助	1
〈支部総会など〉		
平成 27 年度支部総会・懇親会&観光スナップ		2
平成 27 年度総会出席者リスト・平成 26 年度分年会費納入者		5
平成 27 年年度会計報告及び平成 27 年度時習館同窓会関西支部役員		7
時習館同窓会関西支部第 50 回記念総会・懇親会の報告	松下 和正	8
第 51 回総会・懇親会の呼びかけ	河合 行朗	13
〈特別寄稿 母校からの報告〉		
「時習の杜」の中で時習館高校のアーカイブ化はできるか？	伊藤 正英	15
S G H 海外学習『はじめてのマレーシア研修』	近藤 啓	17
第 2 回ヨーロッパアセンブリー報告	大須賀憲太	18
〈特集記事、自由な発想で未来を〉		
辞世の句 私ならどんな一句を残すか！？	牧野 圭一	21
行政法学における発想の自由	本多 滝夫	23
「京都国際マンガミュージアム」を支えるもの	伊藤 遊	28
〈特別投稿〉		
私と和歌（三河アララギ主宰者）	今泉 由利	33
東京支部会報『時習の灯』と共に 20 年	岸 徹	36
〈会員だより・自由な発想で〉		
スリリングな我が航海誌（その 1）	成田 一郎	41
入院八策	伊藤 忠男	44
神戸百年前	熊谷 信哉	47
今、私たちが出来ること	北川 井子	52
オーストラリアと日本	東 孝次郎	55
イワトビペンギン人工繁殖成功への道のり～世界初の試み～	伊藤このみ	57
子育て奮闘記	田中 奈央	60
長年の福祉活動が認められる	大石由紀子	62
〈支部だより・活動報告〉		
J K L、J N L 合同行事「近江商人の歴史に触れる旅と水郷めぐり」	片岡聰子&峯島望美	65
ゴルフ同好会からの報告	山村 信哉	67
〈お知らせ〉		
事務局からのお知らせ、会員の動静		69
先輩からの温かい援助&『時習館かんさい』へ投稿してみませんか		71
編集後記		72

『D' où Venons Nous?
Que Sommes Nous Où Allons Nous?』
(我々はどこから来たのか 我々は何者か
我々はどこへ行くのか)



時習館同窓会関西支部
支部長 石川 吉之助 (時習 12)

2017年 今年は米国トランプ新大統領の施策が世界を混沌とさせる、楽観視できない幕開けとなりました。

八年前にバラク・オバマ氏が大統領に就任した時、世界はアメリカ民主主義の奥の深さを実感し、感動させられました。

一方 この度の大統領選挙では、アメリカ第一主義を訴えるドナルド・トランプ氏を大統領に選び、八年前をも上回る衝撃を世界にもたらしました。その背景には、近年のグローバリズムに抗う、ナショナリズムへの回帰といった見方がされています。

欧州各国の大統領、首相の選挙結果次第では大きく変わり、変化を求めるアメリカと彷徨する世界になりそうです。

フランスの画家ポール・ゴーギャンが1897年から98年にかけて描いた絵画に「我々はどこから来たのか

我々は何者か 我々はどこへ行くのか」があります。彼はこの作品を描き上げた後に自殺未遂をしております。

彷徨う世界にあればこそ個人個人のアイデンティティーが重要になります。あらゆる組織であれ、会社であれ、個人であれ、自らの目的、存在意義を明確にして、その実現に向かって一所懸命努力する事こそ我々に課せられた命題だと考えます。

人生は自分との闘いであります。仕事も人生もすべて常に一所懸命な人、その人の懸命さが幸運をもたらすものでしょう。

今年の関西支部総会は、京都で来たる6月18日(日)に開催。テーマは「自由な発想で未来を築こう」。

奮ってご参加下さいますようお願い申し上げます。

🍷🍷🍷 2016年度
支部総会・懇親会
スナップ 🍷🍷🍷



小林同窓会会長挨拶



石川支部長挨拶



司会：鬼本さん (時27)
藤井さん (時28)、山村さん (時17)



受付: 尾野さん (時56)、鈴木 (富) さん (時36)、加藤さん (時66)



和泉さん (時27)、森下さん (時25)、北川さん (時27)、鬼本さん (時27)



近田さん (時35)、岡田 (博) さん (時24)



阿久津さん (時30)、新井先生 (時30)



廣田 (襲) さん (時7)、岩田さん (時8)



最年長
青木さん (豊47)



川瀬さん (時14)、清水 (宏) さん (時14)



鈴木 敬 さん (時13)、河合 (利) さん (時13)



竹内さん (時21)、小田さん (時13)



廣田 (輝) さん (時7)、森田さん (時8)



岡田 (康) さん (時14)、古田さん (時14)



時8 の 片岡さんと田淵さん



花井さん (時17)、大河さん (時16)



岸本さん (時23)、中西さん (時23)



利根川さん (時21)、白井さん (時17)



吉田(知)さん(時50)、宇留島さん(時20)
松浦さん(時20)、岡田(順)さん(時20)



山本(諭)さん(時56)、山本(美)さん(時56)
ご夫妻



小林さん(時19)、三井さん(時19)
雑賀さん(時19)



浴(紗)さん(時67)、浴(晴)さん(時65)



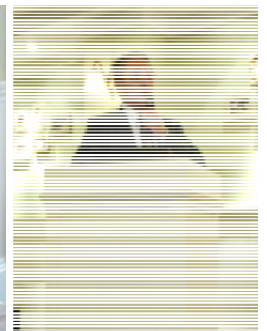
峯島さん(時44)、久本さん(時44)



加藤さん(時66)、清水翼先生(時57)



楠本さん(時65)、牧平さん(時66)



演台で講演される岡田先生
河合(行)さん(時20)と講師の 岡田(行)先生(時20)

歴史散歩「須磨寺・須磨の浦」



アトラクション：河合悠吾さん
尾野さん(時56)、松井さん(時27)
上の写真：尾野さんと河合(悠)さん



2016年度時習館同窓会関西支部 総会・懇親会出席者

本部来賓

会長	小林 佳雄	(時19)	副会長	清水 宏子	(時14)
副会長	高須 博久	(時21)	副会長	福井 英輔	(時26)
理事	佐藤 元彦	(時 1)	幹事長	大河 一夫	(時16)
顧問	川村 昌宏 校長先生				
校内幹事	新井 重式教頭先生	(時30)	校内幹事	清水 翼 先生	(時57)

東京支部より 東京支部事務局長 雑賀 哲治 (時19)
名古屋支部より 名古屋支部支部長 神野 義郎 (時 3)

回	(氏名)	(勤務先)	出身小・中学校	回	(氏名)	(勤務先)	出身小・中学校
(豊 中)				(時習館)			
47	青木 邦彦		福江小	20	宇留島美恵	PCL福岡病理細胞診センター	東田小・青陵中
4	三林 宏榮		福江小・時習館併設	20	岡田 順子	みどり会中村病院薬剤部長	松山小・中部中
6	大林 冷子		松葉小・豊城中	20	岡田 行功	みどり病院心臓補綴センター長	
7	廣田 襄		田原清田小・滋賀大付属中	20	河合 行朗	クローダジャパン (株)	新川小・中部中
7	廣田 輝子		狭間小・名大付属中	20	松浦 茂男		高師小・南部中
8	岩田 孝枝		新川小・中部中	21	竹内 隆夫	竹内総合法律事務所	三谷小・中
8	片岡優美子		牟呂小・牟呂中	21	利根川 躍	三菱UFJホールディングス (株)	大崎小・南稜中
8	田淵 勝子		松葉小・豊城中	23	岸本 由枝	神戸市東灘区保健福祉部	南稜中
8	森田七三郎		牟呂小・牟呂中	23	高桑 眞子		田口小・田口中
9	中村 和歳		牟呂小・牟呂中	23	中西 立美		海老小・中
10	大石由紀子	Tada Parking Lot	松葉小・豊城中	24	岡田 博子		
10	菅原 民生		塩津小・付属岡崎中	24	蒔田 渡	泉友(株)	豊川小・豊川東部中
10	成田 一郎		蒲郡東部小・蒲郡中	25	森下 庸子	共栄製茶(株)	栄小・南部中
11	荒島 啓子		蒲郡南部小・蒲郡中	26	鈴木 優	関西テレビ放送	蒲郡南部小・蒲郡中
11	美馬 洋子		蒲郡南部小・蒲郡中	26	林 政司	有限会社 キュリネール	栄小・南部中
12	石川吉之助	山本通産 (株)	蒲郡南部小・豊城中	27	和泉 裕子		
12	川勝英十津		野依小・南稜中	27	鬼本英太郎	ひょうごボランティアプラザ	
12	鈴木 茂樹	(株)カバーオールジャパン	新川小・中部中	27	北川 井子		細谷小・五並中
	鈴木茂樹夫人			27	松井誠一郎	瀬川外科	花田小・羽田中
13	伊藤 忠男	(株)丸島アクアシステム	小沢小・五並中	28	藤井 順子	(株)カナルプランニング	栄小・南部中
13	小田 宗		蒲郡南部小・蒲郡中	30	阿久津詠美	パナソニック(株)	一宮西部小・一宮中
13	小野 英道		三ヶ日小・豊城中	32	倉田 正也	(株) ツムラ大阪支店	新川小・中部中
13	河合 利夫	フリーコンサルタント		35	近田 昇	関西電力株式会社	一宮東部小・一宮中
13	杉田 順子	税理士		36	鈴木富美子		植田小・南稜中
13	鈴木 敬二	(株)鈴寅工務店代表取締役		36	布藤 智康	武田薬品工業	三谷小・三谷中
14	岡田 康彦	弁護士法人北浜法律事務所	小坂井東小・愛知学芸大付属中	43	伊東真理子	大阪府役所	牛久保小・南部中
14	片岡 聡子		松葉小・豊城中	44	久本 愛		
14	川瀬 義隆		三島小・石巻中	44	峯島 望美	ソプラノ歌手	栄小・南部中
14	古田 啓子		二川小・二川中	50	吉田 知未	積水ハウス (株) 総合住宅研究所	野依小・南稜中
14	松下 和正		蒲郡南部小・蒲郡中	56	尾野 文香	ピアニスト	高師小・本郷中
15	河合 崇欣		老津小・豊城中	56	山本 諭	商工中金 東大阪支店	牛川小・青陵中
15	藤田 和弘	関西ペイント (株)	松山小・中部中	56	山本 美帆	大阪市立啓発小学校 非常勤講師	豊小・豊岡中
15	吉田 久善	(株)ネットアルファ	八町小・豊城中	65	楠本 英雄	京都大学 学生	谷川小・二川中
16	石黒 和廣		牟呂小・牟呂中	65	浴 晴彦	京都大学 学生	栄小・南部中
16	高柳 枝直	NPO 水澄	豊城中	66	加藤明日香	大阪大学 学生	新城八名小・新城八名中
17	白井 一次	損保料率算出機構京都自賠責損害調査事務所	国府小・豊川西部中	66	牧平 結菜	奈良教育大学 学生	前芝小・前芝中
17	花井 俊作	アサヒ産業(株)	松葉小・豊城中	67	浴 紗江子	立命館大学 学生	栄小・南部中
17	山村 信哉	医療法人甲聖会	豊川小・東部中				
18	池田 和子		青陵中				
18	熊谷 信哉		愛教大付属中				
18	鈴木 康浩		桜木小・豊川東部中				
19	三井 節子	日本舞踊講師	松葉小・豊城中				

演奏者名簿

曲の解説及びフルート演奏 河合 悠吾
ピアノ 尾野文香 (時 56) バイオリン 松井誠一郎 (時27)

2016年度分 賛助金・年会費納入者

2016年度分 賛助金納入者

赤木 公 (豊46)	廣田 襄 (時7)	八幡 寿子 (時11)	片岡 聡子 (時14)	白井 一次 (時17)
伊藤 幸郎 (豊46)	廣田 輝子 (時7)	阿部 安博 (時12)	川瀬 義隆 (時14)	花井 俊作 (時17)
青木 邦彦 (豊47)	岩田 孝枝 (時8)	石川吉之助 (時12)	権田 知弘 (時14)	山村 信哉 (時17)
藤田 彰久 (豊47)	尾野あつ子 (時8)	川勝英十津 (時12)	園家 文 (時14)	吉岡 順子 (時17)
花田 庄司 (豊49)	片岡優美子 (時8)	後藤 節子 (時12)	藤巻 篤子 (時14)	池田 和子 (時18)
福井 信雄 (豊49)	草場 恒夫 (時8)	杉浦 敏夫 (時12)	古田 啓子 (時14)	市原 俊彦 (時18)
古田益太郎 (豊49)	杉原 伸一 (時8)	鈴木 茂樹 (時12)	松下 和正 (時14)	小田 賢治 (時18)
近田 良治 (時1)	田渕 勝子 (時8)	山下 洋子 (時12)	鈴木 寛治 (時15)	古跡 恭子 (時18)
彦坂 利久 (時3)	森田七三郎 (時8)	伊藤 忠男 (時13)	田村駒二郎 (時15)	熊谷 信哉 (時18)
小野田邦重 (時4)	安藤 昌司 (時9)	小田 宗 (時13)	藤田 和弘 (時15)	鈴木 康浩 (時18)
長田美智子 (時4)	中村 和歳 (時9)	小野 英道 (時13)	山崎 達彦 (時15)	酒井 康利 (時18)
藤村 恵子 (時4)	大石由紀子 (時10)	白井 孝夫 (時13)	吉田 久善 (時15)	堂本こすぎ (時18)
本部 純子 (時5)	成田 一郎 (時10)	松尾 英城 (時13)	石黒 和廣 (時16)	水口 道子 (時18)
及部 州子 (時5)	荒島 啓子 (時11)	森下 宣彦 (時13)	高柳 枝直 (時16)	宮路くに子 (時18)
大林 洽子 (時6)	井口 喜之 (時11)	伊藤 三彦 (時14)	村田 正好 (時16)	吉田 眞子 (時18)
牧野 健士 (時6)	竹内 郁子 (時11)	遠藤 征宏 (時14)	市川 光雄 (時17)	
東海 和子 (時7)	美馬 洋子 (時11)	岡田 康彦 (時14)	宇井 正和 (時17)	

2016年度分 年会費納入者

富山 幸世 (時19)	鈴木加代子 (時21)	高野 光代 (時24)	不破 靖 (時27)	鈴木富美子 (時36)
内藤 建 (時19)	鈴木 省三 (時21)	中根巳貴男 (時24)	松井誠一郎 (時27)	西岡 洋子 (時36)
原田 典夫 (時19)	鈴木 晴久 (時21)	原田 典彦 (時24)	鈴木 毅 (時28)	藤井 朋行 (時36)
福重 恭子 (時19)	竹内 隆夫 (時21)	宮崎 裕二 (時24)	藤井 順子 (時28)	布藤 知康 (時36)
三井 節子 (時19)	利根川 躍 (時21)	山本 雄二 (時24)	元木いずみ (時28)	大林 浩治 (時41)
宇留島美恵 (時20)	藤田裕二郎 (時21)	井本千津子 (時25)	本多 滝夫 (時29)	斉藤 裕子 (時42)
岡田 順子 (時20)	横井 愛子 (時21)	太田 智子 (時25)	真木 伸治 (時29)	伊東真理子 (時43)
河合 行朗 (時20)	米田 隆子 (時21)	加藤 公也 (時25)	阿久津詠美 (時30)	久本 愛 (時44)
小西 康雄 (時20)	太田 房江 (時22)	大道 安代 (時25)	菊井 昌代 (時30)	藤田 望美 (時44)
鈴木 自 (時20)	河合左千夫 (時22)	田中紀代子 (時25)	椋木紀美江 (時30)	渡邊 淳子 (時45)
田中 登 (時20)	萩原 敏 (時22)	森下 庸子 (時25)	熊本 和正 (時31)	吉田 知未 (時50)
鶴田 文江 (時20)	伊与田 功 (時23)	鈴木 優 (時26)	倉田 正也 (時32)	尾野 文香 (時56)
松浦 茂男 (時20)	岸本 由枝 (時23)	細井 研二 (時26)	馬場奈都子 (時32)	山本 諭 (時56)
山口 隆昭 (時20)	中西 立美 (時23)	林 政司 (時26)	中村利久子 (時33)	山本 美帆 (時56)
山口真知子 (時20)	牧原 正記 (時23)	和泉 裕子 (時27)	小松麻利子 (時35)	小川 智子 (時56)
梅田 洋一 (時21)	池内 真弓 (時24)	鬼本英太郎 (時27)	近田 昇 (時35)	
榎本 直行 (時21)	瀬野 敦子 (時24)	北川 井子 (時27)	金井 裕子 (時36)	

(本誌作成着手以降にお振り込みいただいた方については、正確でない場合が考えられますので、その際はご容赦願います)



「時習さろん」

8月28日の「時習さろん」では、オリンピックの話題を中心に話が弾む。

鈴木亜由子さんからのメッセージ

「皆さんに支えられ、スタートラインに立つことができました。世界のレベルは異次元のところにありますが、それを知った今、これがオリンピックでの今の実力だけ、この結果で終われない。この悔しさを目に焼き付けて4年後に強くなりたいと思えるようになりました。本当にありがとうございました。

実際に触れたオリンピックの空気を忘れず、この経験を生かし、この雪辱を晴らすため、4年後を見据えて、着実に成長を続け、もっと強くなります。これからも、温かい応援をよろしく願いいたします。鈴木亜由子」が紹介され、多めに盛り上がるとともに、今後の応援を誓いあった。

会計報告書 2015年度

(収入の部)		(支出の部)	
前期繰越金	1,122,916	総会費 (ホテルニューオータニ)	1,118,970
総会会費	916,000	会報印刷代、通信費&印刷代	420,903
年会費	202,000	出張費・交通費	62,420
支部育成費 (本部より)	150,000	他支部交流費	17,000
賛助金 (46名分) & 寄付金	177,000	雑費 (会議費、イベント補填)	45,503
雑収入	6,000	送金手数料	19,008
普通預金利息	154	次期繰越金	890,266
(合計)	2,574,070	(合計)	2,574,070

以上のとおりであります。

2016年4月5日 会計 花井 俊作

平成26年度の事業の収支報告について、会計帳簿ならびに証憑書類について監査した結果、その収支および取り扱い方法は適正に執行されていたと認めます。

2016年4月5日 監事 利根川 躍

2016年度 時習館同窓会関西支部役員

H・ページ担当	顧問	監事	理事	事務局長	副支部長	支部長
	顧問	理事	理事	理事	理事	理事
杉浦 達昌	美馬 洋子	大石 紀子	中山 和夫	春山 丈夫	利根川 俊作	花井 俊作
鈴木 美子	近藤 富美子	馬場 奈都子	阿久井 詠子	松川 一井	北川 英子	鬼木 太一
鈴木 裕子	森下 裕子	宮崎 立美	中田 隆子	米田 晴久	松岡 行節	鈴木 節子
長岡 久代	河野 功子	三井 節子	堂本 康浩	鈴木 枝直	高柳 和弘	藤田 啓子
古園 聡子	園田 聡子	片岡 聡子	伊藤 忠男	竹内 隆夫	山内 信哉	松村 和正
川瀬 義樹	鈴木 茂樹	石川 吉之助				
(時25)	(時11)	(時10)	(時9)	(時47)	(時21)	(時17)
(時36)	(時35)	(時32)	(時30)	(時27)	(時27)	(時26)
(時25)	(時24)	(時23)	(時21)	(時21)	(時20)	(時20)
(時19)	(時18)	(時18)	(時16)	(時15)	(時14)	(時14)
(時13)	(時21)	(時17)	(時14)	(時14)	(時12)	(時12)

「時習さろん」のご報告とご案内

2016年度の「時習さろん」は下記のとおり開催され、記憶に残る楽しいひと時を過ごしました。

記

- 第1回 2016年5月28日
総会前夜祭兼『時習館かんさい』
30号発刊記念 参加者 18名
会場：なにわ食彩「しずく」
- 第2回 2016年8月28日
夕涼み会 参加者 23名
- 第3回 2016年11月19日
秋祭り 参加者 15名
- 第4回 2017年2月5日
新年会 参加者 23名

2017年度「時習さろん」の予定

2017年度は次の日時に開催いたします。是非皆様のご参加をお待ちしています。年代を超えたフランクな会話を期待しています。

記

- 第1回 2017年5月27日(土)
総会前夜祭兼会報31号発刊記念
- 第2回 2017年9月3日(日)
夕涼み会
- 第3回 2017年11月18日(土)
秋祭り
- 第4回 2018年2月4日(日)
新年会

会場：大阪駅構内 ホテルグランヴィア大阪19F パブレストラン「アブ」
時間：18:00～21:00 連絡：関西支部事務局長伊藤 (携帯 090-1595-0439)
レストラン担当 新本 (携帯 080-4074-1323)

「世界に羽ばたく神戸、交流の街に集う」

瀬戸内の名勝、須磨海岸

明治、大正のロマンが漂う神戸迎賓館須磨離宮に集った時習館同



～「関西支部第50回記念総会・懇親会の報告」～

松下 和正（時習 14）



2016年6月12日（日）に神戸市須磨海岸に近い神戸迎賓館須磨離宮で時習館高校同窓会関西支部第50回記念総会が行われました。

神戸は古くて新しい街。奈良時代には既に大輪田の泊りとして瀬戸内海のみならず異国との水運の重要な拠点であり、また平清盛による福原遷都、そして一の谷の源平合戦でも名高い須磨海岸。明治以降、世界でも有数の港街に大発展したのは皆様よくご存じのことと思います。

そこに集ったのは、時習館高校の現在の校長先生はじめ同窓会本部、名古屋支部など他支部からの参加も含めて合計91名の方々。

○厳かな総会

午前11時30分に鬼本英太郎さん（時習 27）の司会で総会が始まり、石川吉之助（時習 12）関西支部長の挨拶、同窓会本部の小林佳雄氏（時習 19）、川村昌宏時習館高校長の挨拶に続き、東京支部事務局長、雑賀哲治（時習 19）東京支部事務局長、神野義郎（時習 3）名古屋支部長が紹介されました。

引き続いて議事に入り、花井俊作（時習 17）会計担当から会計報告、利根川躍（時習 21）

監事による監査報告、支部長からの役員改選と同窓会規約確認、伊藤忠男事務局長（時習 13）からの活動報告、活動計画が審議了承されました。



支部長あいさつ及び会場風景

○身につまされる特別講演

特別講演 講演のテーマは「高齢社会における医療の現状」

講師は岡田行功氏（時習 20）。

講師の岡田氏は神戸市立医療センター中央市民病院副院長（心臓血管外科部長）を務められ、現在はみどり病院心臓弁膜症センター長を務め

ておられ、日本を代表する心臓外科手術医として有名な方です。

死亡原因として代表的な 3 大疾患、悪性新生物、心疾患、脳卒中などの病態や診断方法、診断装置の進歩、などについてわかりやすく解説していただきました。この総会に集まった方には比較的高齢の方も少なからずおられ、皆様熱心に聴いておられました。自分はまだまだ若いと思っておられる方々にも大いに参考になったかと思われまます。



講師岡田先生に花束贈呈

○和気藹々の懇親会、クラシックに酔う

懇親会 特別講演に続いて 13:00 より懇親会がスタートしました。懇親会の司会は山村信哉氏（時習 17）と藤井順子氏（時習 28）。

まず今回の実行委員長である私・松下和正（時習 14）から開会宣・挨拶を行い、続いて乾杯の音頭により、皆様お楽しみの食事と歓談が始まりました。

食事・歓談のあいだにアトラクション 「誰でも分かるクラシック音楽」が行われ河合悠吾氏の解説・司会により

第 1 部 「宮廷の音楽」

第 2 部 「食卓を飾る名曲」

演奏者は ピアノ 尾野文香さん（時習 56）

ヴァイオリン 松井誠一郎氏（時習 27）

の演奏を楽しみました。

司会の河合さんとピアノの尾野さんはご夫婦で、ともにヨーロッパでの音楽会などでも大活躍されておられる音楽家です。ヴァイオリンの松井さんは高校 1 年でヴァイオリンを始められ、文化祭で活躍され、その後も研鑽を積み、今も演奏会など活躍されておられますが、本職は神戸の瀬川外科病院の整形外科部長としての知られた方です。

クラシック音楽の素晴らしい演奏、美味しい料理とお酒、ビール、ワインを堪能し、歓談を楽しみながらも時間はあっという間に過ぎ、最後に懐かしい時習館高校の校歌、応援歌を出席者全員で大声で歌い、万歳三唱、片岡聡子さん（時習 14）の閉会の挨拶で締めくくり、懇親会はおひらきとなりました。

○須磨歴史地区の観光、散策

今回の会場は風光明媚な須磨海岸に近く、平敦盛、熊谷直実の青葉の笛で有名な一の谷の源平合戦場、須磨寺など歴史的にも名の知られた観光地です。会の終了後、希望される方々（約 40 名）には、5 人のガイドさんの案内で観光・散策をしていただきました。

○景勝地に建つ神戸迎賓館

明治以降、風光明媚で温暖な須磨地区は、多くの財界人、華族たちにより別荘が建てられ、須磨離宮公園の造営、鉄道の開設などが行われました。神戸迎賓館須磨離宮は大正年間に設楽貞夫氏の設計で、西尾類蔵邸として建てられ、大正モダンの佇まいを色濃く残しています。敷地は 2,900 坪。山の借景を組み合わせた整形形式庭園は 2007 年に国の「名勝」指定、本館主屋、松風閣、真珠邸などは 2010 年に兵庫県の指定文化財に認定されました。

神戸総会余話

神戸総会運営幹事団

さりげない雑談から、それは始まった。2016年の神戸総会準備のための初会合（3月13日）の時だ。「そう言えば今年の総会は50回目らしい」「ふう～ん、そうなんだ」「開かない年もあったので関西支部の歴史よりは多少、少ないようだ」「ふう～ん」。

幹事の一人がこの話を心の中で転がしていた。「50回と言えば大きな節目。何か印象に残る企画をしたいなあ」。

号外発行

そこで思いついたのが「号外発行」。石川支部長の裁可がすぐおり、号外プロジェクトが動き出した。以前にも神戸港遊覧船「コンチェルト」上で総会を開いた時、号外発行をしたことがあり、今回で2回目となる。

地元の神戸新聞社が「めぐる君」という名称の移動号外発行車を持っており、ここへ出動要請をかけることになった。大雑把な紙面レイアウトを描き、東京の「東京スカイツリー」と名古屋の「名古屋城」の写真も使うことにした。この2枚の撮影手配はいずれも石川支部長の手を煩わせた。

当日撮影する写真はスペースや時間の制約で2枚が限度と分かり、屋外での全員集合写真と懇親会冒頭の乾杯に絞った。「めぐる君」の駐車場所や駐車時間に大きな制限があったため、2枚の撮影時間のタイムラグをゼロにするよう総会スケジュールを変更してもらった。屋外での全員集合写真の場所はレストラン側との折衝で旧クラブハウス前の芝生イングリッシュ・ガーデンと決まった。当日は小雨がパラつき出し、やきもきしたが、何とかクリアできた。

「めぐる君」オペレーターと相談、見出しに

使う「時習館」の文字は母校の玄関正面に飾られている扁額から引用することにした。時習同窓生なら一目で分かるのでアピール度は抜群。また別の見出しには、めでたさを強調するため「めぐる君」秘蔵の金色を特別に使ってもらった。



50回記念総会で発行された「号外」（カラー、A3判）。参加者全員に持ち帰ってもらった

横断幕

総会の名称は「第50回記念総会」とした。これをアピールするでっかい文字も必要だ。作業を進めるうち、アイデアはどんどん広がってゆく。

「大きな横断幕（縦60センチ、幅4メートル）を作っては」とのアイデアも飛び出した。業者に依頼し、パソコン処理すれば5000円もかかる。幹事団から恐る恐る会計担当者に聞いたところOKが出た。

熊本城復旧募金箱の設置

第50回記念総会とは全く関係ないが号外発行準備中の4月14日と4月16日に「熊本地震」が起きた。今回は21年前に阪神・淡路大震災に遭った神戸が会場だ。何かしたいが、総会開催時には地震から2カ月近くが経ち印象が薄れているはずだ。そこで考えついたのが大きな被害に遭った熊本城の復旧募金呼びかけ。熊本城内にはわが母校と同じ名前を持った藩校があった。「多少こじつけになるが、この縁で募金を呼びかけてみよう」。



復旧への永く厳しい道を歩み出した熊本城。時習館関係者も応援して見守っている
(写真は熊本城総合事務所所蔵・提供)

総会当日は日本三名城と呼ばれたころの熊本城の美しい写真を貼った化粧箱風の募金箱を会場の一角に置いた。熊本城の写真は熊本城総合事務所の許可を得て取り寄せた。



同じ「時習館」のよしみで募金を呼びかけた。一部は震災被災者に届け

正直のところ、寄付がどのくらい集まるか、全く分からなかった。フタを開けてみると「5万2895円」だった。関西支部ゴルフ会からの「1万6190円」と会場での「3万6705円」である。いずれも温かい気持ちが詰まっております、うれしかった。

総額の8割に当たる「4万2300円」は但馬銀行を通じて「熊本城災害復旧支援金」に、

2割の「1万595円」は神戸新聞厚生事業団を通じて被災者の方へお届けした。後者は7月6日付の神戸新聞紙上でも紹介された。

マスコミへのアピール

募金の件は神戸市政記者クラブ加盟各社にも取材依頼の資料を届けた。当日が休刊日だったせいか、母校が兵庫県外だったためか分からないが、マスコミの取材はなかった。

まとめ

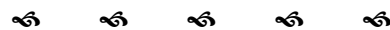
阪神・淡路大震災に遭った神戸における第50回記念総会。この二つが偶然、重なって「神戸総会余話」関連の諸イベントがスタート、関西支部が一丸となって動いた。

1に工夫、2にひねり、3に「3つのS(サービス、ストーリー、サプライズ)」。ちょっとかっこ良すぎるが、「親しみやすい」と定評の神戸地区の総会運営モットーはこれに尽きる。今回、神戸地区の熱い心の一端が参加者に届いてくれたらどうか。

【神戸総会運営幹事団】



今回はかなり毛色が変わった歴史年表をご紹介します。既にご覧になった方も多いのでは？(スペースの都合で一部省略)



45億年前 地球という惑星が形成される

38億年前 有機体(生物)が出現する

250万年前 アフリカでホモ(ヒト)属が進化する。最初の石器

200万年前 人類がアフリカ大陸からユーラシア大陸へ広がる。異なる人類種が進化する

50万年前 ヨーロッパと中東でネアンデルタール人が進化する

- 30万年前 火が日常的に使われるようになる
- 20万年前 東アフリカでホモ・サピエンスが進化する
- 7万年前 ホモ・サピエンスがアフリカ大陸の外へと広がる
- 3万年前 ネアンデルタール人が絶滅する
- 1万3000年前 ホモ・フローレシエンシスが絶滅、ホモ・サピエンスが唯一生き残っている人類種となる
- 1万2000年前 農業革命が起こる。植物の栽培化と動物の家畜化。永続的な定住
- 5000年前 最初の王国。書記体系。貨幣。多神教
- 4250年前 最初の帝国
- 2500年前 硬貨の発明。ペルシア帝国。インドの仏教
- 2000年前 中国の漢帝国。地中海の

- ローマ帝国。キリスト教
- 1400年前 イスラム教
- 500年前 科学革命が起こる。地球全体が単一の歴史的領域となる。資本主義が台頭する
- 200年前 産業革命が起こる
- 今日 人類が地球という惑星の境界を超越する。核兵器が人類の生存を脅かす
- 未来 ホモ・サピエンスが超人たちに取って代わられるか？



年表を見て日常の細かいことを忘れ、気宇壮大になってみましょう。

《出典》

『サピエンス全史』ユヴァル・ノア・ハラリ著
河出書房新社



素人デジカメ写真コンテスト実施



最優秀賞
神野義郎（時習3）
作品「姫路城に翻る時習の旗」

平成 28 年度時習館同窓会関西支部総会・懇親会（平成 28 年 6 月 12 日）の出席者による投票で最優秀賞、優秀賞の 2 点が選ばれました。その作品及び作者を発表いたします。



優秀賞
鈴木富美子（時習 36）
作品「笑顔に包まれたサンタマリア号」



牧野先生自画像

「漫画のふるさと京都」に集う

～2017年度 時習館同窓会関西支部第51回総会・懇親会～

実行委員長（京都副支部） 河合 行朗（時習20）



4年に1度の京都での総会、今年は京都駅上のホテルグランヴィア京都で開催します。

大学以来、足掛け40年以上京都に住んでいますが、私の知らない京都がまだまだ多く残っていることに気付きます。

知らない京都を訪ねることをこれからの楽しみにしています。

標題の「漫画のふるさと京都」もその一つです。

高山寺の鳥獣人物戯画から始まるのでしょうか。最近の和製アニメの世界的なヒット、リオオリンピックのスーパーマリオ、日本文化を代表するまでになっています。



会場：ホテルグランヴィア京都

今回は総会後の特別講演を牧野圭一氏（時8）に「漫画・アニメの世界」（日本の漫画・マンガは文学である）のテーマでお願いしました。懇親会でのアトラクション（奇想天外な内容？）

も楽しみです。

さらに総会終了後、「京都国際漫画ミュージアム」を精華大学国際マンガ研究センター研究員の伊藤 遊氏（時45）の案内で見学会を計画しました。



漫画天国
京都国際漫画ミュージアム

「京都国際漫画ミュージアム」は京都市と京都精華大学の共同事業として、2006年に明治以来の伝統を持つ旧龍池小学校校舎に開館された新しい文化施設です。世界の漫画・アニメの博物館・図書館的な機能を持ち海外からの訪問者も急増しています

京都駅から地下鉄で5分の烏丸御池から徒歩2分です。

世界から注目される京都の新しい文化に触れる今回の総会への多数のご参加をお待ちしています。

特別寄稿

本部よりの便り



母校からの報告



申

「時習の杜」の中で
時習館高校のアーカイヴ化はできるか？



時習館高等学校教諭

伊藤正英（時習 31）

本年から、時習館高等学校に赴任しております。まず、なつかしい「ハンテン木」並木や教室や、「土まんじゅう」などが目に入ってきました。同窓会総会などで来客される皆さんのために、何かお手伝いすることはいいのか、と少し考えました。若干自分にも、やれることがありそうな事として、「時習館のアーカイヴ（記録保存）化」を進めています。

○アーカイヴとは

アーカイヴは、辞書的に言うと、「記憶」「記録」または、自覚された印刷物または、記録された物の束、となります。よく、学校記録とか学校日誌、学級日誌の類を「狭義」のアーカイヴと＝「記憶の蔵」として使用しますが、ここでは、もう少し「広義」の意味合いで、時習館高校にまつわる現在または過去の人と環境に刻まれた記憶と記録の総体＝「時習の杜」の意味合いで使用していきたいと考えています。

○時習館におけるアーカイヴの先行研究

80周年記念事業の一環として発刊された近藤恒次先生の労作『時習館史』は、先行研究として、あまりにも有名でしょう。この1558ページを全文読みこなすことは、なかなか難しいことです。また、同時期の4回生の先輩方が中心になって創設された、『時習文庫』の存在も大変大きい。最近では、『時習館 Art gallery—文化財図録』が120周年記念事業の一環として発刊されました。すばらしいカラー図版が多数掲載されており、この本により、学校内ある

いは校庭における絵画、石碑の由来がわかります。こうした著作などから「時習館史」の一部がしだいに垣間見られるようになっていくことと思います。



『時習文庫』

卒業生の著作物を収集、所蔵し、現在の所蔵数は3,000冊を超えている

○総務部として—「記憶の蔵」の調査して

総務部に配属されたのですから、学校内の倉庫を調べ、アーカイヴ化以前の「原資料」の確認をし、電子媒体のエクセルに所在倉庫とタイトル名のみをまとめて来ました。戦前の四中時代のものはほぼ、見当たりませんでした。思えば、戦前の校舎は、中柴町にあったわけで豊橋空襲で焼失したのですから、ないのは当たり前ですね。豊橋中学・四中時代の学校雑誌は、司書室に同窓生寄贈のものが保管されています。今は、豊橋中学の校門の碑が当時を偲ぶだけです。また、昭和39年の「時習大火」があった後の熊谷三郎校長時代の書類は多いです。おそらく、この時代の頃から「資料保存」の重要

性が多くの人に共有化されてきたのだと思います。関西地区では、阪神・淡路大震災辺りから自治体でも「史料の保管と保存」の重要性が認識されてきたことは、ご存知の方も多いでしょう。地震災害で被害を被るのはいつも人や財産です。しかし、「記録媒体」としての「学校資料」も失われてはならない重要な資産です。史料の保管は、災害の復興後に大きな役割を果たすという事実は歴史が実証してくれています。

OSGH歴史部顧問として―「時習館の杜」を突き抜けて

本校では、おもに世界史を担当し、地歴公民科の教員を行っています。新しい教育課程や新しい課題も提示されてきており、ダイナミックな改革が始まっています。いわゆる、「グローバル化」の中の教育課題にも、本校は大きく関わっていることは、昨年の川村校長先生や清水先生の報告などで、ご存知でしょう。SGH（スーパー・グローバル・ハイスクール）事業の一環として、文化部の中の「歴史部」の生徒も活動をしています。

例えば、部長がSGH講演会の司会をつとめる。また、SSカルチャーと呼ばれる「京都研修旅行」の案内役を歴史部・部員で行う。また、発表展示を文化祭で行い、部雑誌『たかしま』を発行するなど、意欲的に活動しております。この活動も、12月1日の中日新聞紙上の「ぶかつ道」に掲載され、愛知県内ですが、話題にいただきました。

ふだんは、火曜日と木曜日に研究を中心に活動していますが、2カ月に一度、「フィールドワーク」活動をして、愛知大学東亜同文書院記念館や名古屋大学博物館などで大学の先生や研究員の方からお話を聞いて、部員のテーマ研究の励みにしています。

○これからの『時習館史』は

学校の校内校外で、つねにフレッシュな若人の声が響く時習館高等学校です。日々、ハン

テン木並木も姿を変え、新しい佇まいを見せています。自分もそうであったのですが、教師をしていると生徒の歩みに驚かされ、彼らの疾走に励まされ、また叱咤されるようなことも多々あります。生徒時代は三年、そして木々も一年周期でその様子を変えていきます。しかし、変わらないものがあるのではないのでしょうか。それは、校訓「自ら考え自ら成す」であったり、校歌、応援歌であったりします。もう一つ、歴史や先人（先輩）から学ぶ、また伝統と礼節を尊ぶ気風も、この学校にはあるではないか、と思っています。

実例を一つ挙げます。文化部の歴史も調べているのですが、そのひとつに「文学部」があります。部雑誌『コスモス』は、何と105号を越えました。年に2回発行ですから、50有余年続いてきたことになります。ほぼ、私の年齢と同じなので二度驚きます。ちなみに、この雑誌は1号から保管されています。1961年10月30日の発行です。「―コスモスは秩序ある世界 カオス（混沌）に対す また世界・宇宙 そして秋に咲く花―」この巻頭言は今のコスモスにも踏襲されています。いまだに、この部活動を創立され、部雑誌を命名された方は健在ですし、某地区の同窓会の幹事をやってもおられます。半世紀を続けている雑誌というものは、昨今少ないのですが、「コスモス」の100号を越える歩みは、『時習館史』の新たなページにふさわしいと思っています。

1979年以降、『時習館史』の次のページは書かれていません。あのような大冊の出版はこれからは物理的にもまた、金銭的にも出来ないでしょう。しかし、各部活動や同窓会の周年行事での出版は相次いでいます。そうした同窓生の発行物の集大成はしてみたいものですね。

この、関西支部だよりも『時習館かんさい』も今年で31号を記録されたようでおめでとうございます。「時習の杜」から、皆さんのますますのご健勝とご発展をお祈りしております。

母校からの報告



SGH海外学習 『はじめてのマレーシア研修』

時習館高等学校教諭 近藤 啓 (時習 39)



○はじめに

1月15日(日)から21日(土)までの1週間、本校からの派遣生徒4名、引率教員2名によるペナン州での研修報告である。日中は30℃を越えたが、幸い乾期であったためか意外と過ごしやすかった。

『はじめての』というのは、豊橋技術科学大学ペナン校の全面的支援のもと、今年度からこの研修を始めていくことと、私にとって初めてのマレーシア訪問だからである。『はじめて』でありながら、ペナンの方々、本校生徒、引率教員に助けられながら貴重な体験をした。

○研修内容

日新中学(Jit Sin High School)
 北海鐘霊中学(Chung Ling HS* Butterworth)
 檳城鐘霊中学(Chung Ling HS* Penang)
 *HS:High School

との交流がメインである。

(1)英語によるプレゼンテーション

ア Japanese culture soaking in the Tub
 (お風呂文化の比較)

イ National Character and SNS
 (使用する SNS から見た国民性の比較)

ウ Japanese Manners and Customs
 (日本の伝統文化・習慣について)

エ Pickles (日本の食文化『漬け物』について)

英語による質疑応答を通じ、グローバルな視野で考えることができた。また、アンケート結果からお互いの文化・習慣についての理解を深められた。さらに、回数を重ねることにより、本校生徒の英語の発音や表現力も向上した。

(2)異文化交流

本校生徒は日新中学の生徒宅にホームステイでお世話になった。折り紙や書道を紹介したり、ホストファミリーと外出したりして過ごした。

ちょうど旧正月の時期と重なり、華やかなお年玉袋でペナンの伝統的な正月飾り(ランタン)を教わりながら楽しく作らせてもらった。また、檳城鐘霊中学の生徒からは、各民族に伝わる伝統的な「チョンカ」(Congkak) というビー玉を使った遊びと小石を使った



遊びで交流した。特にチョンカは初めにどこからビー玉を取り出すかで勝負が決まるので、私も含めて真剣に遊んでいた。

(3)教育施設の見学及び体験授業

各教室には60インチ程度のタッチパネルがあり、いつの間にか本校のHPを開いて学校紹介が始まっていた。また、動画で音楽を視聴してから質問に答えるという英語の授業も体験した。教科書なしの会話だけの授業に本校生徒たちは驚いていた。



(4)部活動への参加

部活動(バスケット、陸上、吹奏楽)にも参加してきた。中高一貫校で生徒数が多く、練習場所を確保できないながらも工夫をして部活動に取り組んでいた。



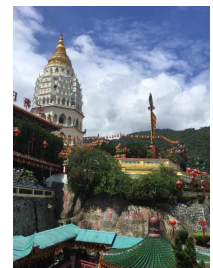
(5)企業訪問

(Panasonic Automotive Systems Malaysia)

人材育成という観点で見学した。掲示物でモラルやマナーを徹底させたり、ブロックで従業員の特性を見極めたりする手法はまさにシンプルイズベストであった。

(6)ペナンの歴史・文化研修

ブキマタジャン、ジョージタウンを訪れて、ペナンの歴史と文化を学んだ。また、在ペナン日本国総領事館訪問の際には、「グローバルな視点に立った場合、欧米に目を向けがちであるが、ペナンを訪問先に選ばれたことは、ホームステイや3校との交流を通して、多文化・多民族・多言語社会を体験し、これからのグローバル社会を考える上でとても素晴らしいことである」と、総領事から高い評価をいただいた。



○おわりに

本校生徒は、次に会う6月までに中国語を話せるようになると意欲満々。私は、ペナンに対する知識が増えたり、英会話が少しだけ上達したりもしたが、ペナンの方たちと心の交流ができたことが一番の収穫である。加えて英語力を向上させたい、マレーシアの数学教育を知りたいと思うようにもなった。はじめてから次へのステップである。

母校からの報告

申

第2回ヨーロッパアSEMBリー報告

時習館同窓会副会長 大須賀憲太（時習 20）



○「時習館ヨーロッパアSEMBリー」とは

まず、「時習館ヨーロッパアSEMBリー」設立の目的について簡単に説明します。ご存じない方もおられるかも知れませんが、日本の公立高校教育の中で最も進んだグローバル教育態勢が進められ整っているのが時習館高校です。

そんな時習館高校在学中の生徒たちにとり、少しでも世界が身近に感じられる状況を作りたい、時習館卒業生の方々にとり、少しでも世界が身近に感じられる状況を作りたい、ヨーロッパに、そして世界に少しでも興味を持つような環境を作りたいという目的のもとに設立されました。そして時習館同窓会と時習館高校が将来の日本の国際化に向けて時習館の国際化への環境づくりに着手したいという願いがその根底にありました。

○2015年ロンドンで第一回開催

大澤前同窓会長の悲願であり、それを受け継いだ現小林会長が決断され、3年前、2015年11月にいよいよ第一回ヨーロッパアSEMBリーが開催されることになりました。

日本から5名、ヨーロッパにお住まいの方々4名の計9名、開催地ロンドンでスタートしました。その時の出席者は、日本から林校長先生（当時）と同窓会小林会長、私他2名。そして、小山騰さん（時19回、在ケンブリッジ）、佐藤大輔さん（時44回、在リヨン）、白井一志さん（時48回、在ロンドン）、飛松優歩さん（時62回、当時ロンドン留学中）の4名の方々にお集まりいただきました。そして、この会議で、ヨーロッパ支部の正式名称、2年に1回のアSEMBリーの開催と次回開催予定がフランスのリヨンであること等が決定しました。



2014年11月29日（土）ロンドンのセントパンクラス駅近くのThe Gilbert Scottにおいて開催された第一回 時習館同窓会 Europe Assembly 出席者の写真（時習館同窓会ホームページより）

○第二回はフランスのリヨンで開催



フランスリヨ市内のフランス料理レストラン「TAKANO TAKEO」（インターネット写真より）

リヨンでの第二回ヨーロッパアSEMBリーで幹事役を引き受けていただいたのは佐藤大輔さん。リヨンにお住まいでいらっしゃるが、フランスと日本を食文化でつなぐお仕事をされています。佐藤さんは、食物史の権威でもいらっしゃるって、日航のファーストクラスの食事の監修もなさっている方です。

その佐藤さんのご尽力で昨年9月24日(土) リヨ市内のフランス料理レストラン「TAKANO TAKEO」でアセンブリーを開催することが出来ました。

このレストランのオーナーシェフ高野さんは早稲田大学出身ということで私の後輩になり大変うれしい選択でした。出席者はヨーロッパ支部から小山支部長、佐藤副支部長他、新メンバーとしてパリ在住で保険会社勤務の大竹健介さん(時46回)、アルザスでパティシエをされている西口遥佳さん(時61回、在パリ)ご主人がジェトロパリ事務所のグルニエ佐藤彰子さん(時48回)の5名。日本からは、川村校長先生、小林会長はじめ10名が参加いたしました。



フランスのリヨンで行われた、第二回ヨーロッパアセンブリーに参加した方々、リヨン商工会議所にて

会議の詳細は別に譲りますが、帰国後ヨーロッパ各地からお集まり頂いた方々より心温まる感謝のお便りが小林会長のもとに届き、遠くまで出かけた甲斐があったと思っております。

○第三回はアルザスを予定



次回開催地アルザス
最も旅したい街といわれている
(旅ナビ写真より)

大変盛り上がったアセンブリーの中で、次回開催地をアルザスとすることが決まりました。幹事は、妊娠中にも関わらず参加して頂いた西口遥佳さん、サポートに佐藤大輔さんも決まりました。

○リヨンの街に感激

会議に先立つ9月23日10時にリヨ市中心部、ベルクール広場集合した前泊組参加者の為に佐藤さんがリヨ一日ツアーを企画してくださいました。ルートは、世界遺産エリアのベルクール広場、サンタントワヌ・マルシェ Marche St. Antoine (ソーヌ河岸) フルヴィエールの丘(フルヴィエール大聖堂、ローマ劇場) リヨ旧市街のだまし絵。テロー広場、リヨ市庁舎、オペラ座、シルク工房、リヨ屋内市場 Halles de Lyon、などでした。

また、新市街に移動し、パールディウ Part Dieu 地区のワールドトレードセンター高層ビル、Tour Oxygene の最上階にある OnlyLyon 事務局を訪問し、担当者から丁寧にリヨの解説をしていただきました。フランス語の説明をよどみなく同時通訳する佐藤さんが、リヨの日本人故郷大使だとお聞きして大変感激した経験でした。



リヨ市内ミルク工房前広場にてくつろぐ

最後に、フランス到着の直後、前大澤会長の訃報が届き、参加予定だったご息の大澤二郎さんが急きょ欠席となりました。大澤さんのためにも、何としてもこのアセンブリーを成功させ、次に繋げなければとの思いで参加した会議でもありました。

特集記事

自由な発想で



特集記事



辞世の句
私ならどんな一句を残すか！？



牧野 圭一（時習 8）

今年度の総会会場・京都は神社・仏閣ばかりが目につくが、実は漫画文学発祥の地でもある。大学にマンガ学部が創設され、初めてマンガミュージアムが建てられた。その中心的役割を担い、わが国初のマンガ学部教授になったのが先輩牧野圭一氏である。総会での講演を依頼するため、お願いに上がった折、先生から「マンガ」に対する熱い思いをお伺いしたので、その内容をここに紹介する。 伊藤 忠男

○西行、浅野内匠頭、石川五右衛門

辞世とは、知恵蔵 mini の解説によると死を前にしてこの世に書き残された詩的な短文のこと。和歌、俳句、漢詩など音韻を重視したものであることが多い。東アジア固有の風俗とされ、特に中世以降の日本において多く作られた。広義には、死を意識せずに書いた生涯最後の短型詩なども辞世の句とされることもある。著名な辞世の句として、「願はくは花のもとにて 春死なむ その如月の 望月のころ」（西行）、「ちりぬべき 時知りてこそ 世の中の 花も花なれ 人も人なれ」（細川ガラシャ）、「風さそふ 花よりもなほ 我はまた 春の名残を いかにとやせん」（浅野内匠頭）、「おもしろき こともなき世を おもしろく」（高杉晋作）などがある。

安土桃山時代の有名な盗賊の親分とされる石川五右衛門（いしかわ ごえもん）。文禄3年に捕えられ、京都三条河原で釜茹での刑に処せられたと伝えられている。その時の辞世
「石川や 浜の真砂は 尽くるとも 世に盗人の 種は尽くまじ」
は広く知られている。

歴史的な人物たちも我が身の一生を振り返って、「5・7・5」や「5・7・5・7・7」の「世界最短詩形」に思いを込めて書き残している。

西行や五右衛門とまで行かなくとも、懸命に生きて来た自分自身を振り返り、「一句」に凝縮させるとしたら、どのような言葉になるのか？ 考えて見るのも面白いのではないか？



しかし、2017年（平成29年）の世は、インターネット時代。この時代に残すなら、時代にふさわしい「形」があるのではないか。

写真は私淑した「政治漫画」の師・近藤日出造記念館（千曲市ふるさと漫画館）で開催中の公募展の「仲良し合作部門」で大賞を獲得した作品である。漫画館事務局のご承諾を得てお見

せしよう。

ばあちゃんの「競泳のからだにばあちゃんメ～ロメロ」の川柳の横に孫が描いたイラストが添えられている。

ズバリ！！世代を超えた「仲良し合作」。

昔の短歌や辞世と形は異なるが、ばあちゃんと孫との合作、何とも言えない温かみを感じ、ばあちゃんの辞世の一枚としてずっと受け継がれたら良いなどの思いに駆られた。

この作品はすごく漫画チックで、現時点の二人の仲を見事に記録している！！一と、評価したい。

未だお会いしていなくとも、親戚のような、親しい友人の家族であるような、人間的温かさが伝わってくるのではないのでしょうか？一枚のハガキに描かれた川柳と漫画の合作作品が、大きな力を発揮して、何十年経過した後も、制作した人の生活や人間関係を伝えることが出来る！！その実際をお見せできるのは、一人の漫画家として、何にも代えがたい喜びである。

さまざまな絵画様式の中で、漫画ならではの！の特徴が明確に表された事例であると、自信を持って申し上げることが出来る。

今一つの商品をお見せしよう。

「ふるさと漫画館」川柳漫画・仲良し合作＝の二例目だ。



「おかあさん♥いちにちなんどもこだまする」との歌と娘の可愛い絵。絵だけ、川柳だけを切り取って鑑賞、評価するならば、授業参観日に教室に貼りだしてある作品、という趣きの、その場限りの発表ということになるのでしょうか、

「お母さんの川柳」と「娘さんの絵」との合作となれば、そのお宅の雰囲気から、二人の会話内容、声、性格？まで想像できるような、心温まる作品と見えて来ないでしょうか？

やはり「5・7・5・7・7」という短歌の代表で、すぐ浮かんでくるのが百人一首。その世界にも漫画が登場する。漢字に仮名が打ってあり、少女漫画風のイラストが描かれている。漫画表現は、止まることを知らず、どんどん異分野に進出して行くものであるとの実感は、こうした事例からも感じ取ることが出来るのではないだろうか。



Yahoo 画像より「100人一首イラスト」

これらの作品をいかに記録として残すかがこれからの課題だろう。

私は鎌倉絵柄天神社にこのような新しい形式の作品を奉納してきた。これは人間味溢れる魅力的な伝達手段ではなかろうか。奉納→展示→収蔵・保存という形まで、さらに広く発展させることが出来ると思う。このような試みは、日本人の宗教観を総合的に見渡せば、八百万の神々は、タブーの無い自在な表現形式である漫画と、たいへん相性が良い。そして、世界的に見て最短詩形である川柳や狂歌も人間味の溢れる魅力的な伝達手段である

関西には同窓生鈴木寛治氏(時習15)が宮司をされている大神神社がある。この神社は日本最古の神社であり、関西における新しい作品の奉納の拠点になり得るだろう。

ばあちゃんと孫、こどもと母合作の新しい作品が定着すれば、新しい時代の「辞世」の姿が浮かび上がってくるのではないだろうか。

特集記事



行政法学における発想の自由

本多 滝夫 (時習 29)



○自己紹介

3年前に民俗音楽の演奏と講演をされた千葉さん、一昨年にビートルズの演奏を披露された後藤さんはともに同期なのですが、高校時代にみなの前で演奏していた彼らとは異なり、私はそれほど注目を浴びるような存在ではありませんでした。今風にいえば、あまりキャラが立っていませんでした。部活はバレーボールをしていましたが、青春を賭けるほど熱かったわけではありません。そうはいっても、夏の陽射しの下で、汗と砂だらけになった屋外のバレーボールコートでの練習、息を切らせながら学校の回りを走った冬のトレーニングは、今も懐かしく思い出されます。

高校卒業後、名古屋大学法学部に入学し、同学部を卒業後、さらに、同大学の大学院法学研究科に進学しました。そこでは、行政法学という法律学を専攻とし、博士課程を単位修得退学した後、大学教員としての道を歩み始めました。名古屋大学、愛知教育大学、広島修道大学を経て、16年前に、京都の伏見区にある龍谷大学(深草キャンパス)に勤めることとなりました。



龍谷大学キャンパス

龍谷大学では当初は法学部に所属していましたが、その後、法科大学院に異動しました。しかし、新たな法曹への参入数を制限しようとする時代の趨勢に抗うことは難しく、この3月に龍谷大学の法科大学院は閉校となりました。4月に、再度、法学部に異動することになっています。

○行政法学とは



2015年3月にハノイ法科大学における行政法のワークショップにて

さて、大学の教員、すなわち研究者、ということから、私は、固定観念にとらわれない、すなわち、自由な発想の持ち主だと思われるかもしれませんが、しかし、法律学、とくに、私が専攻としている行政法学は、〈法における自由な発想〉といってもよい法解釈の自由にはきわめて慎重です。というのは、行政法学という法律学は、行政機関が権力を濫用して国民・住民の権利利益を侵さないように、行政機関を法律で縛らなければならない、行政機関に法律の枠を跳び出させてはいけないという考え方—これを「法律による行政の原理」といいます—を基礎

しているからです。その意味で、とても〈お固い〉法律学といってよいでしょう。

法律の条文は、通常、〈〇〇である場合には、××をしてはならない〉といった形式で定められています—〇〇を「要件」と呼び、××を「効果」と呼んでいます—。事実関係が要件に当てはまらなければ、効果は生じません。いいかえれば、その条文には拘束されない、つまり「自由」だ、ということです。禁止を定める法律は、人の行動を制限するものですが、反面として、制限されていない行動の自由を保障するものです。



4年生論文指導

2013年3月にモンゴル国立大学法学部の日本法センターでモンゴルの学生向けに行政法の集中講義をしたときの写真

ところで、行政法として性格付けられる法律ないしは法条＝行政法規は、〈国土交通大臣は、〇〇である場合に××（命令等）をすることができる〉といったように、大臣や知事・市町村長に権限を与える体裁をとっています。事実関係が〇〇という要件に当てはまる場合にのみ、国土交通大臣は××という処分をすることができます。逆に言えば、〇〇という要件に当てはまるような事実関係が存在しない場合には、国土交通大臣は××という処分はできないし、別にその旨を定める法条が存在しない限り、××以外の処分もすることができません。このように、行政法規は、行政機関の行動の自由を制約するところに特徴があります。このような行政法規の解釈・適用によって、国民・住民の自由が確保されることとなります。したがって、行政法学では、国民の自由を制限する行政法規を拡大

解釈したり、国民の自由を回復したり、権利利益を与えたりする行政法規を縮小解釈したりすることをできる限り控えるのが、基本的なスタンスです。

○自由な解釈を認めなかった裁判

裁判所もまた、国民・住民の基本的な権利に決定的な影響を及ぼすような法律については行政の自由な解釈を認めません。たとえば、旧・オウム真理教の後継団体であるアレフの信者らが、とある市に集団で引っ越してきたところ、その市が、アレフの信者らが住民になることを阻止するために、転入届を受理しないとした事件がありました。22年前にオウム真理教の信者らが引き起こしたサリン事件や、修行と称される集団生活などを想起すれば、たしかに、アレフの信者が集団で引っ越してくることに住民が不安を感じてしまう以上、その不安の解消のためにアレフの信者らが住民になることを拒否することが市の責務だと考えたのは仕方がないでしょう。

しかし、住民登録の根拠法である住民基本台帳法は、新たに転入してきた者が現に転入した市町村の区域内に住所—生活の本拠—を定めた事実があれば、その市町村はその者の住民票を作成しなければならないとしています。最高裁判所は、「地域の秩序が破壊され住民の安全が害される危険性が高度に認められるような特別な事情がある場合には、転入届を受理しないことが許される」のではないかとこの市の主張を、「実定法上の根拠を欠く主張といわざるを得ない」と断じ、不受理処分を取り消した一審裁判所および控訴審裁判所の判決を支持しました（最高裁平成15年6月26日第一小法廷判決）。

「実定法上の根拠を欠く」、すなわち、法律はそのような要件を定めていないということです。もっとも、住民基本台帳法の目的や趣旨自体が地域の秩序の維持にある場合には、同法がそのような要件の存在を暗黙の前提としていると解

積することも可能です。しかし、住民基本台帳は「住民に関する記録の適正な管理を図る」ことのみを目的としています。住民に関する記録、すなわち住民票は、住民が基本的な権利を行使する際の根拠となるものです。選挙権の行使の根拠となる選挙人名簿も、住民票に基づいて作成されています。かりに、生活の本拠をとある市町村の区域内に定めたにもかかわらず、その市町村が住民登録を認めない場合には、その人はいつまで経っても選挙権を行使することができないこととなります。そうした住民基本台帳制度の趣旨を踏まえて、先に紹介した事件の各審級の裁判所は、市の新しい解釈を認めなかったわけです。

○行政法学における発想の転換

このように行政法学は〈お固い法律学〉なのですが、時として、自由な発想に基づくパラダイムの転換もあります。戦後の行政法学は、憲法原理の転換により、法律に根拠があれば行政がどのような内容の活動を行おうとこれを問題としないとする形式的法治主義から、根拠となる法律が違憲なものであってはならないこと、行政活動自体も憲法に違反してはならないことを要請する実質的法治主義へと転換しました。これ自体、ある意味ではパラダイムの転換だったのですが、1960年代頃までは、特別権力関係と呼ばれる特定の法律関係については、なおも基本的人権の大幅な制限が許され、そこには裁判所の力が及ばないといった考え方—特別権力関係論といいます—が支配的でした。

特別権力関係の典型例とされていた法律関係は、公務員の勤務関係や国公立学校の学生・生徒の在学関係でした。公務員は政治的活動の自由や労働基本権が大幅に制限されていますし、国公立の学生・生徒についても学校の内外で頭髪や服装の自己決定の自由や政治的活動の自由が制限されていることがあります。権力関係には実質的法治主義が及ぶにもかかわらず、同じく特別権力関係には実質的法治主義が及ぶとは

考えられなかった理由は、日本の行政法学が戦前から先生としていた（西）ドイツでは、実質的法治主義を採用した戦後も特別権力関係論が維持されていたことによるものでした。一部の学者は、法治主義は及ぶと主張しましたが、それは厳格には適用されないというものにとどまりました—こうした主張は特別権力関係論形式的否定説といいます—。

ところが、1960年代に、当時の新進気鋭の行政法学者、室井力は、特別権力関係とされている法律関係のうち、公務員の勤務関係は、本質的には、民間の労働契約関係と同質のものである、そして、国公立学校の在学関係もまた、本質的には、私立学校の在学契約関係と同質のものであると喝破する特別権力関係論実質的否定説を唱えました。室井の理論は、いわば「コンブスの卵」というべき発想の大転換に基づくものでした。この理論は、その後、日本の行政法学では支配的な地位を占めるようになりました。そして、特別権力関係とされていた法律関係内部の争いのほとんどが裁判所の審理の対象となりました。大幅な基本的人権の制限はなおも残っていますが、特別権力関係だから制限を受けても仕方がないという説明はされなくなりました。そして、少なくとも、特別権力関係という言葉は、行政法学や行政実務では〈死語〉となりました。



平成 28 年度卒業写真
法学部で3年間担当したゼミ生と撮る

室井力は、実は、私の恩師です。私が大学院に進み、研究者になろうと決意したのも、行政法学に革命を起こした恩師に憧れたからにほか

なりません。私が大学の教員になってから 30 年近く経ち、恩師が鬼籍に入ってから 10 年が経ちましたが、なおも行政法現象の表面的な分析やチマチマした法解釈論しかできない自分に歯がゆさを感じる昨今です。私が第一線の研究者でいられるのも、残すところ 10 年となりました。この 10 年を大事にしていきたいと考える今日この頃です。

○権力における私人のなりすまし

さて、私の恩師の室井が提唱した特別権力関係論実質的否定説の意味するところは、行政の活動にも民間が行っている活動と同質のものがあり、法的には同じように扱わなければならない、しかし、それを異なる法的な扱いをするには、それなりの合理的な根拠（憲法上の要請を含む）、そして、それを前提とした具体的な法律上の根拠が必要だ、というものです。つまり、室井の理論は、国民・住民の視点から、行政の特権性、不合理な権力性を否定するところとその真骨頂がありました。

ところが、最近、行政の方が自らを国民・住民と同じ立場にあることを強調する事件がありました。沖縄県の名護市の太平洋側に辺野古崎という岬があります。ここにはアメリカ海兵隊の駐屯地があります。キャンプ・シュワブといいます。ご存知と思いますが、現在、防衛省の沖縄防衛局が、そこに V 字型の滑走路を設ける工事を進めています。宜野湾市の真ん中にあるアメリカ海兵隊の普天間飛行場の代わりとなる飛行場です。新しい飛行場の敷地を確保するためには辺野古崎周辺の海域を埋め立てる必要があります。国といえども、海を埋め立てるためには都道府県知事の承認が必要です。沖縄県の仲井眞前知事は、安倍首相との会談のち「いい春が迎えられる」と言っ、2013 年 12 月に埋立てを承認しましたが、「県内移設は公約違反だ」として、仲井眞候補を破って当選した翁長現知事は 2015 年 10 月にこの埋立承認を取り消しました。取り消しの理由は、普

天間飛行場の代替施設を沖縄に作らなければならない実質的な根拠が乏しいこと、貴重な価値のある埋立区域の環境保全が困難であること、沖縄の基地負担が固定化されること、というものでした。どちらの知事の判断が正しいのかという問題は、ここでは置いておきます—昨年 12 月 20 日に前知事の埋立承認は違法ではなかったから、現知事は取り消すことができないとする最高裁判決が下されていますが、現知事の判断そのものが間違っていたとするものではありません—。

さて、翁長現知事が承認を取り消したとき、沖縄防衛局は国土交通大臣に対し不服を申し立てました。不服申立ての制度は、国民の権利利益を救済するための制度で、国の機関が利用することを予定していません。ところが、沖縄防衛局は、自分は国民と同じ立場にあるとして、この制度を利用したのです。なぜ、国民と同じ立場なのでしょう。一般の事業者が海を埋め立てる場合には、やはり都道府県知事の〈免許〉を必要とします。国の場合には〈承認〉です。言葉が明確に異なります。これについて、沖縄防衛局は、これは言葉だけの違いで、〈免許〉も〈承認〉も、同じ基準で判断され、埋立工事の実施を許すという法効果を発生させる点で同質だ、だから、自分も国民と同じ立場にあると主張したのです。

しかし、事業者が埋立工事を完了した場合、さらに都道府県知事から竣工の〈認可〉を得ないと埋立地の所有権を取得できませんが、国の場合には、埋立工事が完了したら、都道府県知事に完了した旨を通知するだけで、埋立地の所有権を取得することができます。また、埋立工事の間、事業者は都道府県知事の監督の下におかれますが、国の場合にはそうではなく、自主規制に委ねられています。法の仕組みを丹念に見ると、どう考えても、埋立〈承認〉と埋立〈免許〉は同質といえそうにもありません。

実は、国土交通省は、これまで埋立承認は免許とは異なり、処分ですらないと主張していたのです。同じくアメリカ海兵隊の岩国飛

行場の沖合展開にかかる埋立承認の取消しを求めて付近住民が裁判を提起したときは、国土交通省は山口県知事にそう主張させて、訴えを却下するように裁判所に求めていました。ところが、辺野古の埋立承認については、国土交通省は、承認が処分であることを前提として、沖縄防衛局がした不服申立てと執行停止の申立てを適法と認め、承認取消しの効力を停止させてしまったのです。

沖縄防衛局が〈私人になりすます〉ことができたのは、国土交通省からあらかじめ了解を得ていたからでしょう。しかし、そのために国土交通省がそれまでの見解を180度転回させたわけです。発想の転換と言えばそうかもしれませんが、所管の法律の処理に責任を行う機関がとくに理由を示すことなく法律の解釈を変更することは、無責任としかいいようがありません。

代表制民主主義の下で官僚を統制するためには、行政よりも政治が優位にあるべきだ、という理屈…政治主導…は、私にも理解できないわけではありません、しかし、政権の政策を実現するために、政治主導で自由に法律の解釈を変更してもよい、という考え方は、法治主義からの逸脱、政治主導の濫用であるように思います—なお、翁長現知事の埋立承認取消しをめぐる裁判についていったん和解が成立した時点（昨年3月4日）で、沖縄防衛局が不服申立てと執行停止の申立てを取り下げています—。

私の一枚



家族との団欒もままならず、がむしやりに走り続けた日々でしたが、60歳を前にし、改めて家族の大切さを知った次第です。
これは結婚30周年を記念して家族で食事会をしたときの写真です。

○行政に発想の転換が求められるとき

とはいえ、行政にも発想の転換が求められ、それをしなかったために後に責任が問われることもあります。福島第1原発事故の避難者が東京電力と国に対して損害賠償を求めていた事件で、この3月17日に前橋地方裁判所が、津波による原発事故は予見できたとして、一部とはいえ避難者らの賠償請求を認めました。翌18日の日本経済新聞に私のコメントが掲載されたので引用しておきます。

「国は原発事故以前、最新の安全基準への適合は電力会社の自主的な対応に委ねていた。国のより強い権限行使を念頭に『安全基準に適合させるの

が国の義務だ』という考え方は事故後の原子力政策で主流になっており、判決はこうした考え方を遡って当てはめたような判断だ。『省令改正や命令で対策を取らせるべきだった』とした点は、国にとって厳しい指摘だ。事故の深刻さと避難者の救済を重視した姿勢の表れといえる」

最後に、脱稿が遅れに遅れ、事務局長の伊藤さまには多大なるご迷惑をおかけしてしまいました。お詫び申し上げます。「自由な発想」がテーマだったので、苦手意識？から筆がなかなか進まなかったのが原因でした。最後は、それを逆手にとり、ようやく脱稿に至りました。これも発想の転換のなせる業でしょうか…。

特集記事



「京都国際マンガミュージアム」を支えるもの
～クールジャパン、マンガ研究、そして時習館?!～



伊藤 遊 (時習 45)

○「マンガミュージアム」研究員という仕事

「ぼくの仕事はマンガを楽しむことです」と言う
と、多くの人はいらやましがらる。実際、こんな
楽しい仕事はない、と、ぼく自身思う。

正確に言えば、ぼくの仕事は、誰も気付いてい
ないようなマンガの新しい楽しみ方を、発見して
紹介したり、場合によっては発明したりすること、
である。その舞台となっているのが、研究員とし
て勤めている「京都国際マンガミュージアム」と
いう文化施設だ。



ミュージアムは大アーカイブ施設でもある。来館者
の1割以上が外国人。日本マンガの世界での人気ぶ
りがわかる



1930年代に建てられた趣ある小学校を
リノベーションしたマンガミュージアム

京都国際マンガミュージアムは、2006年、京
都市と、世界で唯一「マンガ学部」を持っている
京都精華大学の共同事業としてオープンした。江
戸時代から現代までのマンガ資料約30万点を所
蔵するアーカイブ施設であると同時に、マンガの
図書館であり、博物館でもある複合文化施設だ。

30万点のうちの5万冊は、誰でも自由に手に取
って読むことができる。

研究員は、30万点のマンガ資料を保存・管理す
る責任者だが、自分自身がそれらを使って研究を
している研究者でもある。そして、そこで得た研
究的知見を——つまり、「こんな視点から、この
作品を、この作家を捉え直すと、もっと面白く読
めるよ」ということを、展覧会やイベント、ワー
クショップという形に落とし込んで、公開してい
くのである。



年に4〜5回、マンガの展覧会を企画。開催中
の展示では、手塚や竹宮恵子といった大御所か
ら、人気の現代作家までのマンガ原画を紹介



土日祝日を中心に、マンガを描く楽しみを知ってもらう体験型ワークショップも開催

○「クール」な文化として再発見されたマンガ

京都国際マンガミュージアムがオープンしたのは、マンガというものが、社会的に“公の”文化として認められ始めたころ。もっと言ってしまえば、マンガのために税金を使っても、国民の反対を受けない、そんな社会になりつつある時期だった。

ぼくは1974年生まれだが、小学生のころ、マンガはギリギリ、「読んでいるとバカになる」とオトナたちに思われていた。いまでは信じられないが、もう少し時代をさかのぼれば、「悪書」であるマンガ本を学校の校庭に積み上げ、PTAと警察が火をつけて燃やす、なんてことも行われていた。では、そうした時代のマンガ作品と今のマンガ作品とは全く別物なのか、と言えば、そうではない。マンガ作品の中には昔からすごいものもあったし、スゴくないものもあった。つまり今と同じだ。最近急にマンガ作品の質が芸術的に高くなっていったというわけではないのである。

社会が、「マンガ文化もすごいかもね」と、(内心こっそり思っていたことを)表立って言えるようになったきっかけのひとつは、マンガ家の手塚治虫さんが亡くなったことだろう。1989年のことだ。彼の死を契機に、取るに足らないものとされてきたマンガ文化全体が再評価されるようになった。亡くなった次の年には、国立美術館初のマンガ展として「手塚治虫展」が開催され、マンガが名作絵画と呼ばれるような「芸術作品」と肩

を並べるものであることが示された。同年、手塚の文章が“国定教科書”に載り、97年には手塚キャラクターが切手の図柄として採用される。マンガキャラクターが切手になったのはこれが初めてのことだった。いわゆる「学習マンガ」や、特殊に配架されていた「はだしのゲン」以外の、いわゆる娯楽マンガが、学校図書館や公立図書館に置かれるようになったきっかけも、手塚の死後、“再発見”された「火の鳥」や「ブラック・ジャック」だった。

2000年代に入ると、日本のマンガが、「クール」な文化として、欧米で爆発的な人気を博すようになる。国際的な経済競争の強力な武器を探していた政府は、アニメやゲームといった娯楽商品にステイタスを与えるため、マンガは、国をあげてバックアップすべき重要な「文化」であると、国内外にアピールを始めたのだった。京都国際マンガミュージアムが実現したのも、こうした政治＝文化的な背景があったからと言える。



イタリアのコミックフェスティバルのために制作したマンガ展にて、日本マンガのキャラのコスプレをする地元のファンたち(2014年)

○「マンガ研究」の黎明

2000年代以降、マンガが“公の”文化として認められるようになった背景には、この時期に整備されるようになった「マンガ研究」という学術研究分野の存在も大きいだろう。

マンガを「研究」という営み、もっと言えば「深読み」という行為は、マンガの楽しみ

として多くのファンに共有されている。大衆文化が注目されるようになった 1960 年代以降は特に、多くの知識人によって、マンガ作品が分析され、その知見も蓄積されてきた。

しかしながら、例えば、歴史学や社会学、文学や美術史といった、研究方法が共有されている学術研究のジャンルにおいて、それらの延長線上でマンガが扱われるようになったのは、90 年代以降のことだ。2000 年代に入ると、大学の授業に「マンガ」と名の付く講義が新設され、マンガをテーマにした卒業論文や修士・博士論文を書こうとする学生も多く登場するようになる。いまや、ぼく自身、京都大学や同志社大学を含む複数の大学でマンガのことを教える教員でもあるが、こんな状況になるなんて、15 年前は思ってもいなかった。

ぼくが、大阪大学文学研究科で大学院生を始めた 1990 年代末から 2000 年代初めというのは、マンガ研究というジャンルが、大学の中で制度化され始めようとしていた、ちょうどそんな時代だった。人文・社会科学において、いわゆるポピュラーカルチャーと言われるものを対象とした新しい研究の潮流が海外から流れ込み、日本の中でも定着しつつあるという時期でもあった。当時、阪大で人文学の大きな研究プロジェクトが作られたが、そのとき、マンガを中心とするポピュラーカルチャー研究チームも、実験的に作られる。これは、大学の中で公式に作られたマンガ研究グループとして、かなり初期のものだったはずだ。

そのチームに、普段からマンガ好きを公言していたぼくが呼ばれた。当時のぼくは、マンガを対象とした研究を行っていたわけではなく、ただのファン。専門は、(いまでもそうだが、) 日本の日常生活文化の歴史を、主にフィールドワークによって明らかにする、民俗学という分野だった。それ以降、自らの武器である民俗学的な研究方法をベースに、マンガの学術研究という未開のジャンルに挑戦することになった。

ちょうどその頃、そのような形でマンガ研究を始めた若い人たちが同時多発的に生まれていた。2001 年には、そうした人たちが集まり、「日本マ

ンガ学会」という学会もできた。その立ち上げの音頭をとったのが京都精華大学だったが、研究をするのであれば、その対象となるマンガ資料が集積した場所もあるといいよね、ということで、マンガミュージアム構想が生まれる。そして、マンガの研究イベントを数多く企画・運営していた、上記阪大の研究チームのメンバーのほとんどが、そのまま、このマンガミュージアムの準備チームのメンバーとしてヘッドハンティングされたのだった。

○ミュージアムを支える時習生

マンガのミュージアム、と言っても、単純に、これまでの美術館や博物館、図書館をそのまま参考にすればいいというものではなかった。ふつう、ミュージアムというのは、すでにその役割を終え、放っておくと消えてなくなるかもしれない文化を保護するために作られる。しかし、マンガというのは、“現役の”、“生きている”文化。考古学博物館といった施設とは根本的に異なるものである。

前例のない文化施設を運営していくためには、柔軟な発想力と対応力が欠かせない。そのことを教えてくれたのは、この号でも執筆をされている、マンガ家の牧野圭一先生だった。牧野先生は、マンガミュージアムが構想された当時、京都精華大学の教員として、準備チームの最も重要なメンバーの一人だった。



国際マンガ研究センター主催で、韓国で開催された第3回国際学術会議「マンガの社会性—経済主義を超えて—」より、研究発表の様子 (2011 年)

牧野先生は、マンガミュージアムがオープンし、京都精華大学国際マンガ研究センターのセンター長として、数年間、直接ミュージアムの進むべき道を示してくれた。先生が、時習館卒業生の一入であることはよく知られているが、現在、このセンター長を務めているのも、実は、時習館出身者。ユニークな美術史研究でこの分野を牽引している京都精華大学の島本^{かん}澆教授だ。マンガミュージアムがオープンした2006年より同学の学長も務めたが、そのとき、島本先生によって進められ

たマンガミュージアムの国際化路線が、その後、ルーヴル美術館やポンピドゥセンターなど、世界の名だたるミュージアムとの共催展・イベントを実現させたと言ってもいい。

そう考えると、マンガミュージアムは、2人の時習館出身者によってその礎が作られたとすることができるかもしれない。ぼく自身は、たとえば、2人の大先輩の背中を追いつつ、マンガをもっと面白くする“第3の男”となることを目指し、日夜奮闘している。



京都国際マンガミュージアムの紹介

京都国際マンガミュージアム案内

所在地 京都市中京区烏丸通御池上ル
 開館時間 10:00~18:00 (最終入館17:30)
 入館料 大人800円・中学生300円
 小学生100円

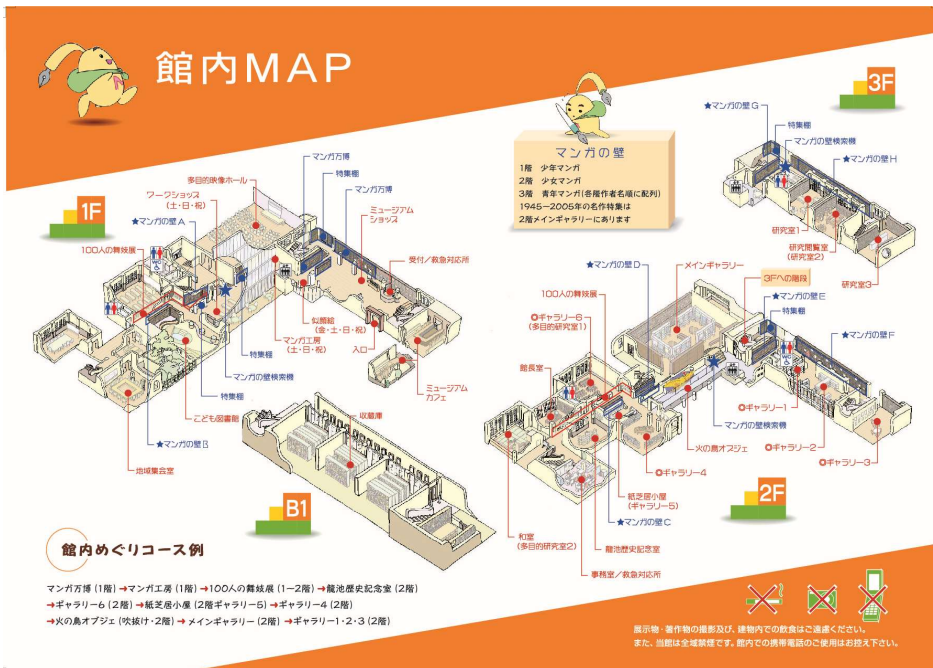
休館日 毎週水曜日(祝日の場合翌日)、年末年始及びメンテナンス期間

TEL=075-254-7414
 FAX=075-254-7424
 URL=kyotomm.jp

京都国際マンガミュージアムの歴史

- 1995年4月・龍池小学校が、周辺の4小学校と統合される。
- 2003年
 4月・京都精華大学から京都市に、マンガミュージアム構想について提案。
 12月・本構想について基本合意。
- 2005年 牧野圭一氏と養老孟司氏で『マンガをもっと読みなさい』を出版している。
- 2006年11月25日・京都国際マンガミュージアムが開館(館長・養老孟司)。

- 2007年11月・開館から1周年。来館者は当初予想より5割増の22万7千人に達し、うち3万人は外国人。
- 2008年7月23日・国の登録有形文化財に登録。
- 2011年8月6日・ミュージアム内のカフェがリニューアルオープン
- 2016年4月・第20回手塚治虫文化賞・特別賞を受賞。
- 2017年4月1日・荒俣宏が館長に就任し、養老孟司は名誉館長に就任。

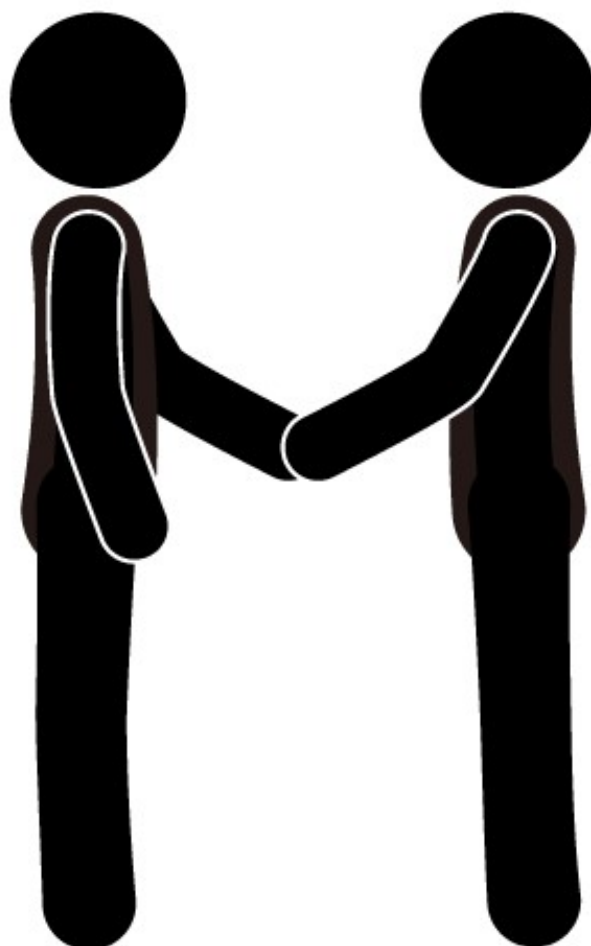


常設展示・イベント

- えむえむ紙芝居
 ヤッサン一座による紙芝居
- ニガオエコーナ
 作家と楽しく会話しながら似顔絵を描いてもらえる。
- 「火の鳥」オブジェ
- メイン展示「マンガって何」
- 制作実演「マンガ工房」
- 来館記念石膏手形
 「マンガ家の手」
- 「100人の舞子」展
- 「火の鳥」オブジェ展

京都国際マンガミュージアム館内図

特別投稿



特別投稿



私と和歌

今泉 由利 (時習 13)



筆者の自画像

「持統上皇、三河行幸」の際のご詠歌と万葉集にある『引馬野にほほふ榛原（はいはら）入り乱れ衣にほはせ旅のしるしに・長忌寸意吉麻呂』

この地に私のルーツはあり、父、今泉忠男（御津磯夫）の『引馬野の考証』に、斎藤茂吉先生が、現地調査にお出かけ下さったこと。

土屋文明先生、アララギの先生方が「三河アララギ」の歌会などにご出席下さったりしたこと。

私の身のまわりが短歌であることが普通の環境で育った。

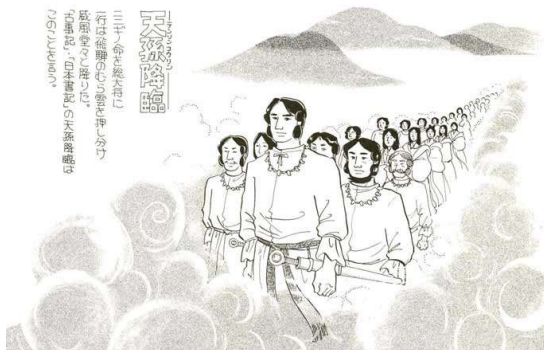
長じて、日本から一番遠い所へ行ったら、自分はどのように生きるのだろうか…アルゼンチンが十分に遠かったから、行って住んでみた。

外国に居たその時々、短歌と随筆に託し、月々の『三河アララギ』誌に送り届けるのだった。自分がいかに日本のことを知らない、何もかも知らないことを思い知った。

「父母をサポートしなくては」と思う時点で日本に帰り、日本を知ろうとする。

日本の一番始めの和歌とは。「天照大神」を知りたい。『古事記』を読もうとし。神々の記述に挫折。

○国の始まりから存在した歌



天孫降臨の図

ドナルド・キーン著『日本文学の歴史、古代、中世篇、日本の創造（紀元前 660 年）』よりお教えいただく。

三人の神が、高天原に出現するところから始まり、様々な神が誕生し、島々が生まれ、最初の英雄、イザナギとスサノオノミコト、スサノオの姉アマテラス。

アマテラスは、水田で稲を育て、織を織る。残酷で怒りっぽいスサノオの仕業に怒るアマテラスは岩屋に身を隠す。世界は暗となり、太陽の必然を知り、農耕、豊穡への母なる女神、天照大神の記録された日本のはじまり。



天の岩戸イメージ図

岩屋から、天照大神を誘いだした「スサノオ」は、大蛇を退治するなど英雄にもなってゆき、スサノオが花嫁に宮殿を建てるとき詠んだ和歌「八重立つ出雲八重垣妻籠みに八重垣作るその八重垣を」

太陽の女神、大地母神、そのうえ武力、軍事力へのパワーも備え、日本最高神と君臨された天照大神。霊石山へ行宮され、朝日に輝く樹氷を詠まれた二千年以上時を経た和歌

「あしひきの やまへはゆかじ しらかしのすえもたははに ゆきのふれしば」

○神武天皇の（第一代天皇）の東征は、日向高千穂より、天下平定のため、築紫、阿岐、吉備を経て、瀬戸内海を東へ進み、明石海峡を浪速の白肩津に到着。

戦い、迎撃、滅ぼし、苦闘を経、大和平定に至り、畝傍の橿原宮で即位され、日本の紀元元年となった。大和平定の戦闘の和歌。

「神風の 伊勢の海の 大石に 這い廻ろふ 細螺の い這ひ廻り 撃ちてし止まむ」

「みつみつし 久米の子等が 栗生（栗畑）には 葦一茎 そねが茎」

建国という偉業を成しとげられた後、伊須気余理比賣の許に行幸され、一宿御寝されたときの和歌

「葦原の しけしき小屋に 菅畳 いや清敷きて 我が二人寝し」

○崇神天皇（第十代天皇）

この治世、中国の文献に「邪馬台国」と重なる。太田田根子をもって、大神（三輪明神、大神神社）を祭る。この日に、活日（大神神社の神酒を醸造する人）自ら神酒を天皇に奉った。

「味酒 三輪の殿の 朝門にも 押し開かねば 三輪の殿門を」

○理想の詩歌

『古今和歌集』 紀貫之の日本詩歌の理想。

「やまとうたは 人の心を種として よろづのことのは とぞなれりける」

歌とは、歌人の直感、心の内をとらえたものであり、妙技をひけらかすことではない。「体験の忠実さ」が、初期の歌から重視されていることを知る。

日本の国のはじまりから存在した和歌の存在、和歌のリズムに携わってこられたことを心からうれしく思う。

○西行の和歌

家柄も良く、武芸に秀で、容姿端麗にもかわらず、世を捨て、高野山に草庵を結び、自由になるために自由を得て、詠んだ歌。

「惜しまれぬ 身だにもよには あるものを あなあやにくの 花の心や」

「春風の 花を散らすと 見る夢は さめても

胸の騒ぐなりけり」

○超新星の記録(和歌から)

『明月記』藤原定家 平安末期、鎌倉初期の歌人、定家の日記風エッセイに、ひとつめの超新星の記録、1006年5月1日、深夜、南の低い空に出現した大客星、半月くらい明るく輝いたと。

1054年の客星出現記録は、世界で初めて歴史に記録された超新星と認められた。定家が陰陽師・安部泰俊から聞き取った古い記録を書きとめた。

1181年8月7日。超新星残骸、超新星爆発について書かれている。

『新勅撰集』、権中納言定家の和歌
「来ぬ人を まつほの浦の 夕なぎに 焼くや 藻塩の 身も焦がれつつ」



権中納言定家の和歌「来ぬ人を……」

○円空僧の和歌

江戸初期（1632年）美濃国に生まれ、生涯12万體造像。神像、仏像を彫られ、歌を詠むことにより、神や仏の魂をやすらげ、人間の願いも叶うであろうと。彫られた神像仏像それぞれの和歌を残された。



円空仏

「作りおく心の神の形ならぬ世にうつくしき玉の言のは」

「幾度もたえても立つる法の道五十六億の世までも」

「木にだにも御形移すありがたや法の御音は谷のひびきか」

「これや此くされる浮木とりあげて子守りの神と我はなすなり」

「わが母の命に代る袈裟なれや法のみかげは万代をへん」

○貫名海屋

私の部屋の、富岡鉄斎が描き、海屋の弟子の谷口藹山が模写をした「貫名海屋、書を読む姿図」が掛けてある。「蓬莱仙境図」に似た構図であり、沢山のことを思い描く。

海屋は、お酒を酌み、微醺を帯びると、大田垣蓮月尼の和歌

「山ざとは松のこゑのみきゝなれて風ふかぬ日はさびしかりけり」この和歌を低く吟じるのが常であった。

○伊藤若冲

「百丈山黄檗宗、京都伏見深草、石峰寺」に、若冲をたたえる撰文筆塚を、貫名海屋が漢文で書いている。一部分だけ、私の解釈である。

「若冲居士は、形どおりの画法を模倣することには不満を持ちました」

「自分自身を大切に、むやみに人に従うことの無かった人です」

ここに、吉井勇の短歌があった。

「われもまた落葉のうゑに寝ころびて羅漢の群れに入りぬべきかな」

ここでの今泉由利の短歌。

「ひと日ひと日三百年のたちしこと石の仏のほのぼのまろし」

○大田垣蓮月の和歌

貫名海屋から「書」などの影響を受けたり、当時、京都を代表する文人たちの交友。

「万世の 春のはじめと うたふなり こは敷しまの やまと人かも」

「人の世も 上中下と かはのせに 心々のみそきすらしも」

戊申の役が起こり、薩長が京の都を出発する時、三條大橋で、大田垣蓮月尼は、彼女の心を託した和歌を、深紅の短冊に書き、西郷隆盛に手渡した。

「あだみかた かつもまくるも 哀れなり 同じ御国の 人とおもへば」

これを受け、隆盛は、鉄舟らを動かし、徳川幕府は、無血の江戸城を明け渡すことになった。

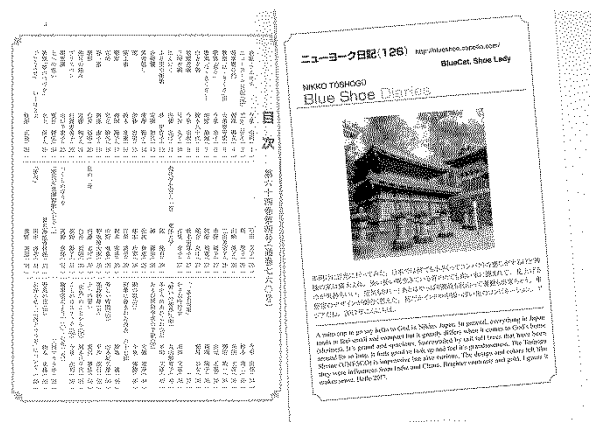
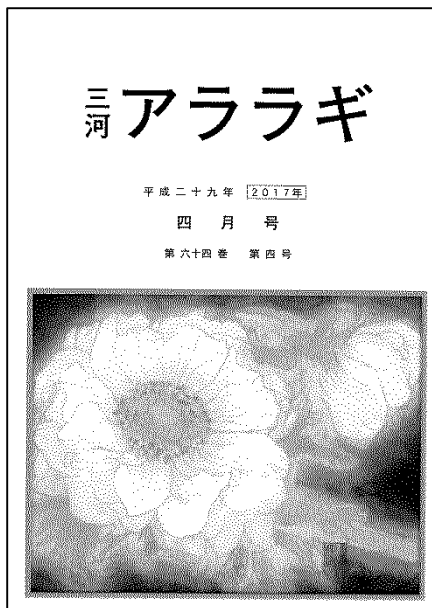
外国に住みはじめてより、四十年近く、毎月々の随筆、短歌を『三河アララギ誌』に載せ続けました。これからも書き、歌い、続けてゆくつもりです。

参考資料

「アルゼンチンつれづれ」

「ことのはスケッチ」

Home page <http://imaizumiuri.jp>



筆者主宰の『三河アララギ誌』

ガリ版刷りから数えて70年間、毎月発行し続けています。発行部数は250部、時習館の同窓生も多数参加しています。

現在はインタビュー対象者と担当が決まると数人でインタビューにお伺いする。時習館の卒業生は様々な分野で活躍しているため、いろいろな話をお聞きできるのも編集部員の楽しみのひとつである。私が担当した方々を列挙すると、内藤由治(時17、ポッカ社長)、西郷和彦(時17、東京大学大学院教授)、杉田成道(時14、フジテレビ)、林聰(時22、公認会計士)、伊丹敬一(時15、東京理科大学大学院教授)、尾崎正直(豊43、科学ジャーナリスト)、辻田邦彦(時17、トークス社長)の各氏である。

「四季の訪問」では、出身地、小学校、中学校、高校、大学と現在に至るまでお話をお聴きしまとめている。2時間程度のインタビューの後には、録音した会話のテープ起こし、2~3頁にまとめるための編集作業等が待っており、これは一苦勞である。まとめたものをインタビューした方に校閲していただき、最終稿としている。尾崎正直氏(豊42)に「ミニ自分史」となっていると云われた時は、嬉しかった。

最近の「四季の訪問」は東京支部のHPにも掲載されていますので、ご覧になっていただければと思います。

<http://www.iishu-tokyo.org/tomoshibi.html>

先輩・同輩・後輩シリーズ「濃緑の丘に集いし我ら」では、時習館同期生6名程度を年次ごとに掲載している。「昭和初期の豊中生」として豊中の先輩方が紹介されていた記事の続判とし

平成28年度「東京支部総会・記念講演会・懇親会」開催される

時習の灯 '16秋

東京支部 会報 224号

編集部 編集長 岸 兼(時17)

目次

- 平成28年度 東京支部総会の報告.....1
- 記念講演会「時習館の歴史と未来」.....2
- 「日本経済新聞」をめぐって.....3
- 時習館の歴史.....4
- 四季の訪問(八).....5
- リポート(ペンペン)報告.....6
- 同窓会.....10
- 時習・時17・時3大橋さんをお迎へ.....11
- 功労者への感謝状.....12
- 創立記念講演会の発行について.....12
- シニアクラブ愛好会.....12
- 時習サロンの報告.....13
- 時習ファミリークラブ報告.....14
- 大津前本館副会長を囲んで.....15
- 金費納入者.....15
- 誌報.....16
- 時習サロンの開催案内.....16
- 編集後記.....16

での登場である。

①近況(家族、お仕事、趣味等)は? ②時習館時代を含めて、青春時代の忘れられない思い出は? ③最近、一番嬉しかったことは? ④これからしたいこと、今の世相について思うことなど、何でのご自由にお書きください。ということで、顔写真とともに約800字程度の自己紹介を書いていた。

第1回93春号の時習1回生の記事に始まり、16春

号では、22回生の登場となっている。

多数の東京支部の同期生を一度に紹介できる記事として、これからの継続していくこととなると考えている。

同窓生に時宜を得た情報を提供するという意味では、急遽記事を掲載することもある。

最近では、昨年の鈴木亜由子さんがリオ五輪に出場することとなり、応援記事を掲載した。

1面に顔写真入りの記事と7面に応援文と亜由子さんからのメッセージを掲載した。これらは、他の記事を少々縮小しても載せたい記事であった。このとき、高校では、応援のための看板が掲げられていた。結果、亜由子さんは、1万メートル欠場、5000メートルは予選2組12位であったが、この経験は次につながるものであり、3年後の東京オリンピックには大いに期待するところである。

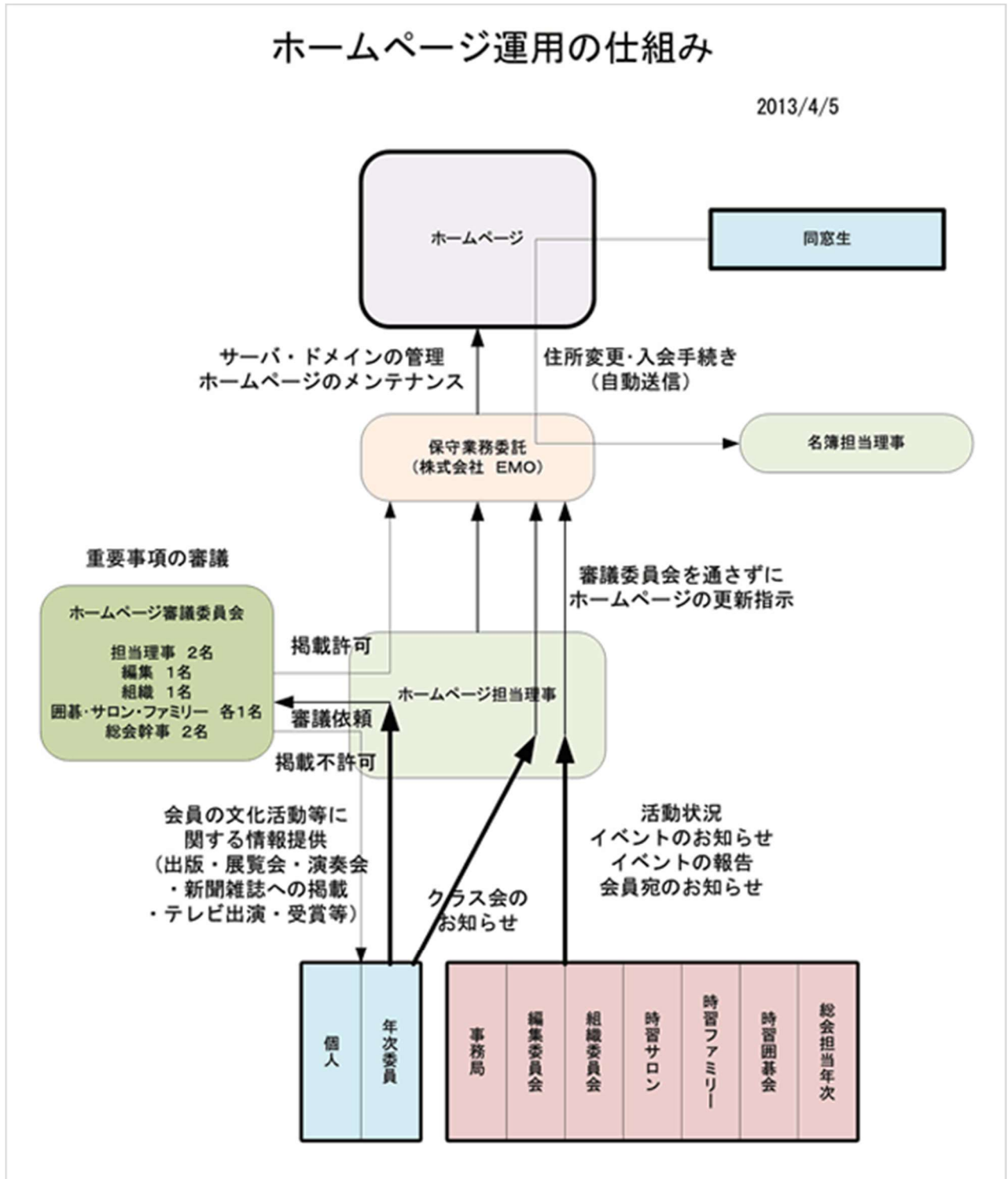
東京支部会報とはいうものの、他の支部につ

参考に掲載

東京支部 ホームページの運用方法

下の図のように同窓会支部の組織からの情報はホームページ担当理事を通してホームページにアップされます。

会員の文化活動等（出版、展覧会、演奏会、新聞・雑誌等への掲載、テレビ出演、賞の受賞など）に関する情報はホームページ審議委員会の審議を経て掲載されます。なお、年次委員を通してのクラス会のお知らせは審議委員会を通しません。



会員便り

自由な発想で



会員だより



スリリングな我が航海誌（その1）

東回り航路（ペルーで乗船～Chilly, San Vicente～Cape Horn～大西洋～地中海～ペルシャ湾～Hormuz 海峡～インド洋～南シナ海～中国深圳～台湾海峡～日本下船）

成田 一郎（時習 10）

正月にパソコンで yahoo のニュースを見ていたら、朴槿恵大統領に関連して 2014 年に大型フェリー SEWOL(世越)が沈没した原因の一つに、貨物を過剰積載してパラスト水を少なくしたため重心が高くなり転覆しやすい、俗に Top Heavy といわれる状態であったとの推測が出ていた。船長は安全と収益のはざまで悩んだことと思われる。もっとも、この船長は沈没時さっさと逃げたとか、私には考えられないことだ。

私は、1962 年 N.Y.K.(日本郵船)に入社、在社中に 28 隻の船に乗った。

会社が世界的に航路網を持っていたので、大陸内部の北米五大湖、欧州の黒海等への航海も経験した。それぞれの船、それぞれの航海においてハプニングがあって終活の今となっても多くの思い出として蘇ってくる。

○船の乗組員は家族である

まだ GPS も無い 1987 年(昭和 62 年)の古い話だが、材木を甲板上に満載して Top Heavy 状態でのスリリングな航海を経験した。

船は総トン数 27,835 トンの搬積運搬船、船主は日本の会社、傭船者は北欧の会社、乗組員は私(船長)と機関長が N.Y.K.社員、他は全て韓国の期間雇用船員であった。

1987 年成田空港から飛行機を乗り継いで南米 Peru, Lima 近くの Callao 沖に錨泊中の船に乗船、直ちに引き継ぎ、翌日、乗組員が 1 ヶ月以上上陸していないのところ、用事は無かったが船長が代理店と打ち合わせということにして船陸一往復のボートを手配して半日ほどの上陸を許可して船内の融和を図る。

数日後、満載のトウモロコシの揚げ荷のために着岸するが、傭船料が未払いのため揚げ荷をするなどの連絡があり、作業員大勢が待機するが荷役を拒否。1 日無駄になったが同港で全量揚げ荷を

終了、空船で Chilly, San Vicente に向かう。



Chilly, San Vicente 港

同港では修理と船舶の検査後にペルシャ湾向けの材木(製材)を満載の予定である。修理工事・検査に際して造船所から前回の工事費が未入金のため、修理・検査は引き受けられないとのこと、乗船早々金の話が多い… 船主に連絡、入金されて解決。次は食料だ、韓国 Crew はキムチか白菜を購入してくれと切望する。韓国人の経営する船食を探して交渉の結果、白菜を購入するが高価で食料費が苦しくなる。機関長と二人で日本食に近い物を探すが見つからず、夕食は 30 分ほど歩いて市内の中華料理店まで食べに行く。途中暗い街灯の下で子供がサッカーボールで遊んでおり、街の公園では小学校 5、6 年くらいの少女がいつもニコニコしながら近寄ってくる。我々が買い物をして残った小銭がほしいのだ。与えると遠くで乳飲み子を抱いた母親が会釈する … 貧しい生活をしているらしい。

ある日 VHF で会社の船が入港していることが判り、機関長が醤油、海苔、割り箸その他日本の味のする食品を貰いに行ったが、船長は女のキャディー二人が迎えに来てゴルフに行っていて留守だったとのこと。重量物運搬で手当が相当あり、次は Hawaii, Honolulu で補油して日本行きとのこと、こちらはこれから寒冷、酷暑、紛争地域へ行くというのに天国と地獄の差だ！ 前日中華料理屋で銀行員だと言って話しかけてきた怪しげな娘さんが二人いたが、多分その二人がキャディーと称し

て稼いでいるのだろうといいながら機関長が貰ってきた海苔と醤油で侘しく夕食、韓国 Crew は白菜が少し買えるので安堵した様子である。

○Top Heavy で荒海に

傭船者の Port Captain から過去の実績を越える積載をしてほしいと要望があって甲板上に満載、重心は高くなり喫水も限界ギリギリ、出港時の計算書類はなんとか OK となった。Port Capt. 曰く、「Magellan 海峡は水先料が非常に高額なので、Cape Horn 廻りで行ってこないか、航海中に甲板上の材木は乾燥して軽くなると思う」冗談じゃない青波が打ち上げたらビニールの梱包なんか何の役にも立たない、甲板上の重量は海水で増加する。傭船契約にも冬の荒天期は Magellan 海峡を通航可としている。機関長とも相談した。冬季に南米・アフリカ両大陸南端を通航した者は会社には居ないだろう、通航したら机上に足を乗せて部下と口をきけるといふ昔の船員の話もある。Top Heavy だから Engine Trouble で漂流して横波を受けたら転覆覚悟だ。しかし傭船者に協力することとして Saudi Arabia, Jiddah 向けに出航した。



Cape Horn

南下するに従い気温は下がり、うねりが大きくなる、全バラスタタンクを海水で満タンとして、極力大舵をとらないようにして航行。Cape Horn 付近は深夜に通過したが灯台の光の他に民家の灯りと思われる光がポツンと見えるだけで行き交う船も無く風と打ち上げる波の音が最果ての地に来たという感じを強める。機関長が船橋に来て「Engine は異常なし、船尾 Poop Deck にも波が上がって潜水艦みたいですよ」。岬を廻って、かつて英国との紛争で有名になった Falkland 諸島を右に見て北上、流氷の恐れもなさそうで、一路 Cape of Good Hope 沖へと針路を採る。Mozambique 海峡を北上する頃から船体の動揺周期が長くなり、左右の傾斜も大きくなってきた、

船底の燃料消費によって重心が高くなってきた証拠である。

○最も危険な海域を航行

Aden 湾(当時はこの付近での海賊被害はなかった)通過、Red Sea 入口 Bab el Mandeb 海峡付近で Radar の映像が歪み船位が正確に得られない(GPS の設備はない)。Jiddah で揚げ荷、一部乗組員の交替引継ぎは僅か 2 時間で完了、Radar の修理、どれもいろいろ制約があってスムーズには進まないが苦心の末出航。補油のため紛争中のペルシャ湾内 Saudi Arabia, Damman に向かう。湾内は紛争地域のため本給倍額となる。船尾に船籍国 Panama 国旗を掲揚して Hormuz 海峡を通過入湾。



Hormuz 海峡での機雷処分
海上自衛隊 HP より

補油の後 Qatar, Umm Said で中国向け肥料を満載することとなり、船艙内の掃除が必要となった。積荷岸壁が空くまで沖で錨泊中の間に掃除を終える必要がある。付近を通航する船舶は夜間は灯火管制をしている、日本船は日中のみ航行しているようだ。韓国 Chief は船長が Deck の照明を許可するなら徹夜で掃除をすると言う。韓国 Crew は徴兵の経験があったり同胞が Vietnam で戦死したりしているが、砲撃・機雷について恐怖感を示さず積極的に船務に協力してくれる。家族を養うために仕方ないのだろうが、この航海で船員を止めるという者もいた。

夜間作業を強行して他船より先に着岸し積荷完了。ペルシャ湾出口に向け夜間航行中、真っ正面から Iran 海軍と思われる高速艦艇より真っ赤な発光信号で誰何あり、VHF で Call Signe, 国籍、行先、積荷等々を報告しながらストレスに航過したが後に貨物船が軍艦の攻撃を受けたとのニュースがあった。時間・位置から推測するとこの軍艦にやられた可能性がある。Hormuz 海峡を無事通

過し湾外に出たときは、皆なほっとしたようで夕食後も食堂がにぎやかになった。

掃除の手当と危機手当の計算をすると船用金の残りが乏しいが不足した時は自分の持参したUS\$で立て替えれば食料の補給はできそうだ。しかし、これから通航する Malacca 海峡、南シナ海は海賊が出没しているのでこれに盗られたら一大事！

○一難去ってまた一難

Sri Lanka 沖を通過、Malacca 海峡は夜間航行となる。海賊対策として現金の大部分を絨毯の下や額の裏に隠し、船橋への外部梯子を撤去し後方見張り員を配置して航行、漁船が多数おり海賊がいても識別はまず不可能。Singapore 沖を熱帯の朝日を真正面に受けて航行、この海峡を通過すれば目指すは Hong Kong、揚荷港の海図を持たずに出港したので、船主に手配を依頼した海図を水先人が持参してくることを期待しつつ航海。

傭船者から Chiwang, China で揚げ荷後は U.S.A San Francisco の予定と連絡が入ったので証書類をチェックの結果、一部が期限切れとなる旨船主に報告、船主からは瀬戸内海の常石造船に向かえとの指示あり、日本寄港ならば機関長は有給休暇下船となること確実、自分の休暇はどこかな？ 外地で下船かなと思案。

Hong Kong で Pilot が海図を持って来船、Chiwang までの航路は狭く潮流が強いので Tugboat が横に着くが中国との国境で、これ以上は行けないので船長が操船して行けとのこと、漁船が密集して潮流は強いし、海図は今受け取ったばかりで良く見ていない。錨を Stand by して船首・船尾に見張りを配置してようやく Chiwang 港入口に到達錨泊。翌日着岸、貨物の肥料は雨は厳禁、何時でも Hatch を閉められるように乗組員の当直が必要だが、夜間は上陸できそうだが街は遠い。当時韓国では共産国との接触は厳しい警戒下にあったので Crew には上陸時に Trouble のないように注意して、できるだけ上陸の機会を与えたら皆な帰国のときの土産として漢方薬を大量に買っていた。故郷では医薬が非常に高価で手に入りにくいとのことであった。ある日 Crew が酒を飲んで騒いでいたが、深夜に Chief が若い二人が喧嘩をしているので止めてくれと部屋に来た。Trouble なので船長が止めてくれと言うので現場

に行くとも床は血だらけ… 翌朝二人を呼んで事情を聴くが記録をとろうとすると口論が始まる。Chief は航海中にどちらかが行方不明とならなければよいがと心配する。

○中国「深圳」から台湾海峡経由で日本へ

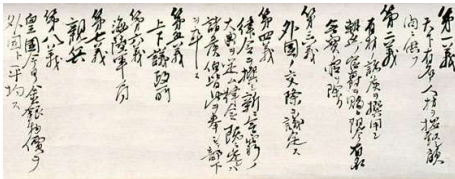
停泊中に機関長と二人で相乗りのタクシーで深圳に出かけたが、延々と続く道路の先にやがて高層ビルが見えてくる。このような広大な大地で暮らしていたら、大声もゴミのポイ捨ても全く気にならないだろう。日本への観光客のマナーが云々されるが生活の次元というかスケールの違いを痛感させられる。深圳では日本食堂は見つからなかったが、街で会った日本の商社マンがステーキをご馳走してくれ、行先の定まらない不定期船の話に興味深く聞いてくれた。同港を出てからは台湾海峡を通過して常石に到着、ここで総員フィリピン船員と交替することとなり、ほっとするとともに引き継ぎの準備だ。全員が交替なので船長の引き継ぎはできるだけ綿密にしておく必要があるが、先のことは傭船者からの情報待ち、新船長はすごく不安そうな様子でした。

○下船、ほっとする

下船者は気が軽い、韓国 Crew は荷物と土産を手際よく纏めている。マイクロバスで関門港まで、そこからフェリーで釜山に帰る。下船前に船主が宴会に招待してくれ、韓国 Crew は賑やかにカラオケを楽しみ、船主からは皆な良くやってくれた、傭船者からはもう一度このメンバーで乗ってほしいと要望があったとの挨拶があり、お世辞だろうが Crew にはありがたい言葉だ。類似した船では船内で死亡事件があったそうで、この船は紛争地域も遅れることなく無事に航海を完了したことに満足感あり、N.Y.K.の二人は有給休暇、韓国 Crew は故郷へ。生活を共にして、危険も乗り越えてきたが、下船となるとこれで生涯会うことはなからう。Chief に釜山無事到着までの Crew の引率を頼み、解散。港の歌、船の歌には出会いの歌は少なく、別れの歌が多いのも頷ける気がする。約 5 ヶ月半の航海であったが、記憶を辿れば際限がない、すでに退職して故郷で暮らしてか、まだ船乗り稼業か、韓国 Crew の幸福を祈ります。 Von Voyage !

次号につづく

会員だより



入院八策

新たなこととの出会い、入院もまた楽しからずや

伊藤 忠男（時習 13）

今年の2月～3月にかけ、前立腺ガンを手術し、入院を余儀なくされた。ベッドで手術の痛みや点滴管に囚われの身、なかなか、前向きになれず、悩んでいたが、なんとか、入院を楽しく過ごすにはどうしたら良いかを思い巡らし、つれづれに書き綴ったものです。



退屈な時間…備えあれば憂いなし

1, 入院中、のんびり過ごす時間に何をするかあらかじめ決め、準備しておくこと

入院中、点滴や体温、血圧、脈拍計測、時には採血等を定期的に行う以外、ベッドにいる時間が長く、意外と退屈なものである。時間があると言うことは精神的に余裕があるようで、実はいろんなことを考えがち、答えの出ないことに悩むきっかけをつくる。また、実際以上に痛みを感じることにもなる。それこそ精神的な疲れを倍加させる。

意味のない苦しさを避けるためにも、のんびり過ごす時間に何をするか考えておく必要がある。日常生活では、時間がなくできなかったことなどを思い描き、あらかじめ用意するものがあれば用意しておきたい。PCの用意は不可欠、こんな時だからこそ、日頃検索できなかったインターネット情報、海外情報などを得ることが出来る。その入手計画を立てる(分野目標)のも一計である。

きっと、面白い情報があり有意義な時を過ごすことができるであろう。

入院を前に何いる何をする 時を活かすはその時の時

また、読みたい本を用意しておくことも忘れてはならない。読書する時間は非常に多い。

ただ、手術、入院により体力はかなり落ちているので、初めは集中できる時間が限られる。徐々に増やしながら、体を慣らさなければならない。

1時間以上連続し、集中するのは避けたいものである。一日、何クール・何時間にするかは体力との相談により決めれば良い。

看護師さん…地獄に仏

2, 看護師さんとは懇意に。何でも相談し、何でもアドバイスを受けること

入院中に最も多く接触するのが看護師さん。しかも術後、自分の身体の様子を最も詳しく、しかも専門的に把握してくれている。看護師さんが日常の状態を医師にどう伝えるかによって、治療方針の参考になる。正確な治療を受けるためと入院生活を楽しくするためにも看護師さんとの付き合い方が大切である。

入院も楽しものなり窓越しに 笑顔が見えるナースステーション

特に、徹夜明けの看護師さんは疲労困憊の状態、患者の心ない一言に傷つけられる場合が多い。そうした状況下で、看護師さんとの会話は特に重要である。

身体の状態に関しても、それ以外、日常の話題についても、フランクに打ち解け楽しく話が出来るとかどうかは、入院生活を有意義に過ごせるかどうかの鍵を握る。私は女性との話が苦手なので、詠んだ和歌の中で看護師さんに関するものを手渡し、話題の一つにしている。

入院の中頃になると、看護師さんとも自然に話ができるようになる。徹夜明けの看護師さん達の苦労話など。その中で治り具合や医師がどんなことを言っておられるかも聞くことができるかもしれない。(容態について看護師さんが言うのは禁じられているのだが)。また、PCの医学情報なども話題の一つ、それらの会話は実に楽しいものである。

就寝前…趣味（芸）は身を助くる

3, 病室に趣味を持ち込む。楽しみの延長で自然と眠りに就くこと

入院中最も寂しさがこみ上げて来る時間帯、それは夕食後、恐らく PM 6 時半以降かと思う。就寝時間が 9 時～10 時とすると、その間、3 時間は入院という状況下での負の部分の思いが広がりやすい。病室の殺風景な壁や、窓から見えるビルや家々の灯りが、心にしみる時、それが高じると、なかなか眠りに就けない。この間の過ごし方が体力維持にも大きく係わってくる。

**ビル街に沈む夕陽も宵のうち
明日は東の空を照らすや**

この時間帯には最も楽しい趣味を持ち込むことが必要だ。無趣味の私には、それを見つけるのに苦労したが、本を読むのもこの時間帯。本の感想文を書いたり、時には和歌や詩を書いてみたり。趣味の世界にひたるのがこの時である。

会話…古い木に花咲く

4, 会話する機会を意識的に増やすこと。時には親友との長電話、それもよし

看護師さんと懇意になっても、入院中で比較的疎かになるのが、会話の機会である。入院されている人が、テレビに向かい独り言を言っている姿をよく目にする。精神的に疲れているのかと疑うときがあるが、この現象は会話に飢えてくることに不安を覚えるからでもある。

**会話無し言葉忘るる一人部屋
着メロ鳴るや顔ほころびぬ**

また、会話をしないと思考能力の低下に繋がり、正常な会話を忘れることにもなりかねない。この状況を意識的に補うことが入院中重要なことである。

いろいろな方々との会話機会を持つこと。家族、大学の同級生、仕事仲間、電話も役立つ。たわいのないことでも、あれこれ話をする事で、回りの情報を得、頭の回転に役立つ。時には長電話も含め豊富な会話の機会を作ることに努力したいものだ。ただし、他の入院患者さんに対し迷惑にならない工夫が大前提である。

これは、入院だけでなく、最近のニュータウン

で一人暮らしの老人が増えているが、その方々へのケアにも繋がる重要な課題かと思う。

寝覚めと太陽光…一日の計は朝にあり

5, 規則正しい睡眠と心地よい寝覚め。決まった時間に太陽光を浴び、歩くことで生活にメリハリを付けること

人が健康を保つには、規則正しい生活が一番だと言われる。そのとおりだが、その実践は難しいことである。それは一日のけじめを付けること、メリハリを付けることが出来ないと、規則正しい生活にならないからである。漫然と朝を迎え、ベッドでごろごろし、いつの間にやら夕暮れから夜。寝付きの悪さを味わいながら、なんとなく眠ってしまう生活。これでも時間的には規則正しいと言えるかも知れないが、決して生活上からの規則正しさではない。

まず、朝の時間をはっきり身体にしみこますことからその日のスタートだ。それには眠りと目覚めの区別をはっきりさせること、これにはほぼ決まった時間に太陽光を浴びる。朝の明るさを身体に認識させることだ。人間の体内時計は 24 時間ではなく、朝の明るさにより修正されると言われているが、そのことにも関係するのか、朝日を浴びることの意義は極めて大きかった気がする。

窓から差し込む光りは看護師さんをお願いしカーテンによりメリハリを付けていただくことも必要。そのメリハリが、心地良い眠りの時間を補償してくれる。

また、歩けるようになったら、積極的に歩くよう心がけたい。歩くことは精神的にだけでなく、内臓の働きにも欠かせない人の基本動作、早い時期から歩くことにこしたことはないと思う。普通、手術後の明るく日から歩ける。痛いと思っても歩く方が痛みの治りも早いと言われ、ひたすら歩くことで快復させることにしたい。これも、生活にメリハリを付ける方法である。

**朝ごはん待ち遠しきは嬉しこと
気力残るかこの歳だとて**

新聞と情報…好機逸すべからず

6, 新聞をくまなく見ること。気が付かなかった記事に出会うことあり

入院中に疎くなるのが、世間情勢。テレビがあるとよく言われるが、日常生活ではテレビによる情報だけでなく、目に入るいろんな情報をミックスし、知らず知らず咀嚼している。活字から日常の動きを補充しないと、なかなか満足する内容にはならない気がする。毎朝、規則正しい生活の一つとして、新聞をくまなく読むことを日課にするのが良い。今までは、時間がないことを理由に走り読みすることが多いのだが、ここでは少し時間の余裕があり、隅から隅まで目を通すことができる。そうしたら、新たな発見が随所に見つかる。

新聞記事はニュースだけではなく、あらゆる分野の記事があり、今まで見過ごしていたものが何と多いか思い知らされる。これも入院によるお陰とと思っている。

大きな見出しよりは片隅の何気ない記事の中に、思いがけず興味を引く、面白いものがある。

この入院では、2017年3月17日（金）日本経済新聞の33面「かがくアゴラ」に、『鳥は恐竜から進化して生まれたが、進化するうえで新たな遺伝子を獲得する必要がなかった。「手持ちの遺伝子の使い方を変えることによって鳥類は生まれたいらしい』（国立遺伝子研究所研究員 関亮平氏）との記事が載っていた。かなり興味深く、話題の種になる記事だった。

**新聞の隅記事困み記事が記事
活字躍るか生き物なりや**

退院後の夢…冬来たりなば春遠からじ

**7、過去（手術・入院）の辛さにとらわれず、
退院後を思い描くこと**

入院は得てして暗いと思われがちである。もちろん痛みもあり、点滴や薬剤投与による気持ち悪さや違和感もある。病院入院自体、本来楽しいものからは対局にあるが、その状態で最も重要なことは、精神的な落ち込みを防ぐ積極的な対応が求められる。

私たちには本来、「楽しさ」は細胞やホルモンの活性度を上げ、「苦しさ、辛さ、悩み」はそれに耐える準備のため活性度を低下させる。もちろん免疫に対する影響も同じだと言われている。

当然、私たちの本能はこうなったら良いなと思うことを常に意識するし、また、昔の楽しかった思い出を明日への糧にする。しかし、辛さが高じ

ると、その本能が眠りこまされてしまう。眠らせないように、常に反芻することが、辛さを乗り越える手段である。ましてや、辛さや暗さは、意味のない無駄なことばかり、気持ちを滅入らす何者でもない。

執刀医師から告げられた言葉「いろいろ悩み考えても、それらはすべて無駄なんだけど」との一言が大きな影響を与えた。

やはり、思いは明日への夢を描くことが基本。夢は大切なこと。夢を見て、叶えられる年齢であることも重要な要素である。

今のこの歳でも、見る夢は「必ず叶えられる」ものであることに感謝すべき。まだ青春時代です。

**今日の明日は過去なり何あれど
夢ある明日に望み託して**

处处全真…無心に徹すれば真実が見える

**8、時には、何もしない何も考えないときを
楽しむこと（虚気平心）**

いろいろなことを書いたが、いつもいつも考えながらの日常生活では体力的にも、精神的にも疲れる。

いままで記載した事柄は、自然と入院生活の中で、身に付くものでなければ意味がない。入院生活をエンジョイすることを基本に、日々の暮らしに楽しみを見つけながら、また、新たな楽しみを探す気楽な旅のようなものでなくてはならないかと思う。

そんな中、全てのことを忘れ、リラックスし窓をぼんやり眺める時間も重要かと。思考を一時的に停止させ、今のその場に身をゆだねることを楽しみたい。

日常の生活の煩わしさや、入院しているというその現実すら、思考から消し去り、頭を空にして、四季の移ろいを眺める。あるがまま、ありのままの世界に身を委ねる。そんな時が持てるならこれほど贅沢なものはないであろう。

そんな時間を持てる、それも、入院の効用かと。日常生活では無の境地、無の世界を味わうのは難しいことの一つであるのだが、入院時は割と簡単である気がする。そこには、時間を制御出来る環境があるからかもしれない。

**何もせず何も望まず何も得ず
無を楽しむは今のこの時**



日本玩具博物館提供

会員だより

神戸百年前

神戸人形と七宝輸出



熊谷 信哉 (時習 18)



神戸は今年、開港150年を迎えた。開港の対象になったのは神戸村、二つ茶屋村、走水(はしうど)村の3カ村。人口は合わせて約3600人。決して寒村ではないが、江戸時代に栄えた地区ではなかった。開港から半世紀たったころまでに、神戸は劇的に変わった。これにまつわるエピソードを「神戸人形」と「七宝輸出」をキーワードとして、ご紹介しよう。百年前の神戸の発展ぶりを通じて、次の一世紀を考える一助になれば、と思う。

神戸人形

井上重義(いのうえ・しげよし)さんと初めて出会ったのは、かれこれ30年以上も前だろうか。日本玩具博物館館長。同館は行政の力に頼らず、個人の努力だけで「おもちゃの殿堂」を運営している国内でも極めて珍しい専門博物館で、学芸員も置いている。小柄ながらファイトマンの井上さんが手塩にかけて育て上げてきた。

○行政に頼らず個人の努力で運営

知り合ったころ館の名称は井上郷土玩具館だった。JR姫路駅(当時は国鉄)の東1番ホームから播但線に乗る。和田山など寒冷地へ向かうため、停車中でもドアは閉まっており、車内への出入りは手動。電車は美しい姫路城を東側から眺め、やがて、その背後に回り込み、ゆっくりと但馬方面へ向かう。「香呂(こうろ)駅」から徒歩で15分ほどだが、歩いて館に行ったのは最初の1回だけ。「不便な場所なので」と、遊びにいくと必ず車で

迎えに来てくれる。

姫路城からは北北東へ約10キロに当たる。30年前に比べれば開発が進んできたが、館の周辺は、まだまだ緑豊かな田園風景が広がる。白壁土蔵づくりの6棟の博物館。民芸調の落ち着いた雰囲気。館内には、日本の郷土玩具や近代玩具、伝統人形、世界160カ国から集めた玩具や人形など、総数9万点を超える資料を収蔵。2、3、4号館では常設展、1号館と6号館では季節に合わせた企画展、特別展を開催している。

○大人も童心に

小さな梯子の頂上にセットした達磨がクルクルと回転しながら落ちて来る「はしごだるま」、音が出る「鳴りゴマ」、車を動かすと動物や人形が意外



来館者と遊ぶ井上館長(左)。子どもが圧倒される真剣な表情だ

な仕草をしたり、オモリをゆらすと糸が引っ張られて楽しい動きをする玩具、回転させることでユニークな動きをする玩具…。

おもちゃに触って遊べるコーナーもある。動力を使わないで面白い動きをする玩具類ばかり。「仕組みは単純だが、よく、こんなにユニークなものを考えついたものだ」と大人も童心に帰って十二分に楽しんでいる。最近小学生の社会見学のコースにも。子どもたちが目を輝かせて動くおもちゃに没入しかけたころ「はい、バスの出発時間です」と非情にも声がかかる。飽きない展示が

工夫されており、「この館だけで1日過ごすツアーがあっても良いのでは…」とつい思ってしまう。

井上さんは若かりし頃、地元・山陽電車の車掌をしていた。運転士試験に合格していたが、本社の広報に引き上げられた。仕事の傍らコツコツとおもちゃ集めを続け、1974年に井上郷土玩具館を設立。40年以上にわたる努力で規模・内容とも、わが国を代表する玩具博物館として広く知られるようになった。我ら団塊の世代にとっては幼い日の思い出につながる懐かしい玩具や人形、世界各地の子ども文化と出合える面白ユニーク博物館だ。

○海外でも人気「神戸人形」

日本玩具博物館のユニークなコレクションの中に「神戸人形」がある。神戸の名前が冠せられたユニークなおもちゃ群で、所蔵品は優に500点を超す。

「神戸人形は、明治時代中頃に神戸で誕生した『からくり人形』。百年以上の伝統がある。その滑稽な動きと繊細な仕掛けは、神戸っ子だけでなく、神戸を訪れる外国人観光客の人気をさらった。明治から昭和初期にかけて創られた神戸人形は、アメリカやヨーロッパの各地に多く残されている」(尾崎織女学芸員)。

明治時代の神戸人形は、柘植(つげ)などの材料が使用され、木肌の美しさを強調した作品が多く、その初めは「お化け人形」あるいは「布引人形」(観光地・布引の滝で売られていたため)とも呼ばれていた。やがて全体が黒く塗られるようになり、様式が整っていく大正から昭和初期には「神戸人形」の名前が定着していった。

神戸人形の作者として分かっているのは、初代の野口百鬼堂、二代目と目される出崎房松、昭和初期に神戸人形を有名にした小田太四郎、そして戦後、数百種に及ぶ神戸人形を精力的に製作した数岡雅敦ら。1995年の阪神・淡路大震災を経て廃絶状態となっていたが、日本玩具博物館では2003年から「西瓜喰い」や「酒のみ」などの復

台の上の人形が西瓜を食べたり、酒を飲んだり…。百年を超える伝統を誇る「からくり」仕掛けの神戸人形。動きの奇抜さだけでなく、その造形的な面白さも再評価されており、外国人にも人気がある。写真はいずれも日本玩具博物館提供



元製作を行い、次代につないでいく活動を行っている。

わが家の神戸人形のお話。高さは台も含め約11センチ、右側についたつまみに触れると黒塗りの団栗眼(どんぐりまなこ)の愛敬ある人形に命が吹き込まれる。つまみを手前に回すと、人形が左手に持った赤い徳利が右手で差し出す盃の真上に。つまみを戻すと大きな口を開けた人形が盃に顔を埋めるようにして旨そうに酒を飲み出す。赤い舌を出し満足そうな表情。単純な動きだが実に楽しい。

人形を支える台の中は一体どんなからくりになっているのだろう。開いてみたい衝動に駆られ、「おい、お前も頑張っているな」と声をかけたくなる。神戸人形は気分転換にピッタリだ。

○後世に引き継ぎたい文化遺産

井上さんが、ある時「私も77歳。あと5年は頑張りたいが、

個人で守ることには限界が来ている。後継者の問題もあり、膨大な資料を何とか社会の手で守ってもらえないものかと模索しているが、文化を取り巻く環境は本当に厳しい…」と、ぽつりと漏らされた。ある広告のプロは「おもちゃは、将来にわたって値上がりが期待できる貴金属や絵画とは違う。ご本人に思い入れはあるだろうが、子どもたちのおもちゃの集合体なので、なかなか難しいだろう」。それはそうかも知れない。しかし、製作する技術も途絶えてしまい、今となっては貴重なものが極めて多いのに、と残念に思う。

○変わる潮目 開港150年のメイン展示も

井上館長らの長い苦労と努力が稔って最近では国際的な脚光も浴び始めている。韓国の国営テレビが「日本のユニークな5博物館」として紹介したり、タイのテレビ局も取材に訪れた。国内でも同博物館の所蔵品や展示を評価する人が徐々にではあるが、増えつつある。これには井上館長自身も「意外な展開」とびっくり。潮目はゆっくりだが、確実に変わりつつあり、「応援してくれる方にきちんと応えていきたい」と決意を新たにしている。神戸開港150年のメインイベントにも同博物館の収蔵品約2000点が「デザインクリエイティブセンター神戸」(略称K I I T O = 神戸市中央区小野浜



日本玩具博物館の楽しい展示の数々。写真は上から昭和時代、女の子に人気のあった人形マオセアニアの船▽昭和時代のおもちゃ▽写真は上から昭和時代、女の子に人気のあった

町)で年末まで特別展示されている。

海外では博物館を公立や私立といった区別でなく、収蔵資料や活動内容を評価して援助をしている



白壁土蔵づくりの博物館を訪れると懐かしい気分になり、ホッとする

国が多い。翻って日本では私立の博物館に対する支援はないに等しく、先進国では最低のレベルという。

日本玩具博物館が所蔵するおもちゃは散逸してしまったら二度と手に入らない物が大半だ。何とかして一括、後世に引き継いでいきたい。「たかが、おもちゃ。されど、おもちゃ」。おもちゃに対する根本的な考え方を改めないと日本は世界的にも貴重な文化遺産を失うことになりかねない。

七宝輸出

神戸は七宝の輸出地だった 意外な愛知との接点

高級焼き物として知られる七宝焼(以下、七宝と表現)が戦前の神戸で四半世紀以上にわたり輸出品の一角を占めていた——こんな面白い話を偶然、掘り起こした。「掘り起こした」というと何か自慢めいて聞き苦しいが、神戸っ子の誰もが完全に忘れ去っていた史実である。七宝輸出を生業(なりわい)としていた会社経営者の末裔たちも、創業者が七宝輸出を手掛けていたことは全く知らなかった。この会社の創立百周年を機に、つい最近、薄皮を剥ぐように埋もれた歴史が明るみに出て来た。神戸の歴史から完全に欠落してしまった七宝輸出について、後日のため、分かった範囲で書き残しておきたい。

○原戸籍からルーツ判明

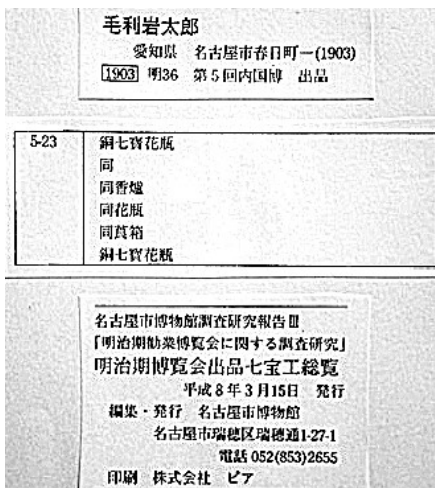
神戸一の繁華街・三宮センター街にある「毛利マーク」が創立百周年を迎えたのを機に2015年2

月まで店内で記念イベントを開いた。神戸の歴史が大好きな私は、面白いエピソードを聞かせてもらおうと、さっそく乗り込んだ。ところが社の経営者からは意外な答えが。「会社の戦前の歴史は何ひとつ分かっていない。新聞社の取材に対しても同じことを伝えた。ただルーツは愛知県の方だと聞いたことがある」。

「それならば」と神戸市文書館と神戸市立中央図書館で資料集めを始めた。どちらも古い史料を多数所有していることで知られるが、特に神戸市立中央図書館は帝国図書館（現在の国立国会図書館）、大阪市立中央図書館とともに戦災に遭わなかった国内主要3図書館として知られる。地下の書庫には戦前も含め50万冊の蔵書を所有している。

両館で戦前の地図、電話帳、商工名鑑、輸出台帳などをチェックして浮かび上がってきた事実がある。「毛利マーク」は創業時、「毛利商店」と言ったが、東南アジアやインドの富裕層に七宝輸出を手掛けていた。「ルーツは愛知県の方」というのも気になり、原戸籍を調べるよう経営者に依頼した。この結果、一族のルーツが愛知県海部郡七宝村(明治時代当時)にあることがはっきりした。現在は町村合併で愛知県あま市となっている地域。旧七宝村といえば七宝の本場で専門職人村を形成している地域だ。

では、なぜこの会社の創業者・毛利岩太郎氏は神戸にやってきて七宝輸出という商売を始められたのか。彼が手練れの七宝職人ということは分かったが、海外に販路を開拓するには有力な後ろ盾も必要だ。



神戸で七宝輸出を手掛けた毛利岩太郎の前職は手練れの七宝職人だったことを示す資料。明治時代、博覧会に作品を出品していた

○川崎正蔵がベテラン職人を神戸へ招く

明治時代、七宝は技術復興で急激に発達した。神戸の七宝輸出のムードを醸し出していた一つの柱は「川崎正蔵」と思われる。第一次世界大戦に乗じて世界中から船づくりの注文を取りつけた川崎造船の創業者・川崎正蔵は巨万の富を築き、「造船王」として知られる。この一方で正蔵は高名な美術愛好家でもあった。



造船王・川崎正蔵が神戸・布引の自宅工房で造らせた名品「牡丹唐草文七宝香炉」。パリ万博に出品し大賞を得た大香炉と同型と言われている。高さ49・8センチ。兵庫県・徳光院蔵

「川崎正蔵は明治30年(1897年)から神戸の布引の本邸の裏にある布引山に窯場、工場、物置、職人住居の四棟からなる七宝焼の工場(約200平方メートル)を建造した。そして七宝の本場の名古屋から、有名な職人を呼び寄せた。

川崎正蔵が目をつけたのは、正統の七宝技術の秘伝を身につけた梶佐太郎(1859年～1923年)だった。佐太郎は名古屋の家を引き払い、神戸・布引の山中に新設された七宝工場に、職人数名をつれて移ってきた。(『造船王 川崎正蔵の生涯』=三島康雄著、同文館発行=から一部引用)。

川崎正蔵は、こうして制作した七宝を販売対象にはせず、作品はことごとく皇室や有名神社・仏閣に献上している。ただ神戸に国内有数の七宝一大生産基地があったのは事実だ。

○神戸港の主要な輸出品の一角占める

神戸は明治になって函館、長崎、新潟などとともに開港された。ビジネスチャンスを求めて各地から多くの人々が新興地・神戸に集まり、現在の国際港湾都市の基礎を築いた。

「七宝」は神戸港の輸出品の一角を担っていた。

神戸税関がまとめた大正3年(1914年)の「神戸港外国貿易月表」を見ると、毛利商店創業当時の貿易の内訳が詳しく書かれている。七宝製品を表す「玻璃」の3月の輸出額は13万2121円。この月の輸出総額の0.9%を占めている。「綿織絲」「銅塊及錠」のチャンピオン級や、帽子、綿メリヤス肌衣、洋傘、花筵には及ばないが、毛皮、マッチより多く健闘している。

○依然、謎は多い

毛利商店の創業者・毛利岩太郎氏は、こうした状況を見て、名古屋から神戸に新規参入したと考えられる。創業に当たって、その資金調達、販路の開拓はどうしていたのか、売上高や利益は具体的にいくらか計上できたのか、現地も含め従業員は何人くらい雇っていたのか…。これらの一部でも判明すれば、これまでほとんど語られたことのない神戸の戦前の七宝輸出史の一端にも新たな光が当てられることだろう。

○七宝は大陸から伝来、正倉院御物にも

七宝は、金属の縁とガラス質の釉薬が織りなす素晴らしく美的な世界。紀元前から古代メソポタミア文明や古代エジプト文明に似たものがある。

これがヨーロッパからシルクロードを通り、中国を経て日本に伝わったと言われている。ユーラシア大陸からもたらされた、この人工の宝石・七宝は七つの宝という意味で、仏教の経典にある七



明治35年10月、川崎正藏から蔵島神社に奉納された「牡丹唐草文七宝花瓶」。有線七宝の名器。高さ75㌢

種類の宝(金、銀、瑠璃、しゃこ、瑪瑙、真珠、まいかい)をちりばめたように美しいものという意味で名づけられた。わが時習館の校章にも七宝を使っているのも多いことだろう。

戦前の神戸の七宝輸出について問題意識を持ち続ければ将来、重要な史料が見つからないとは限らない。次の100年のために目を凝らしていきたい。

《参考書籍》

- 『日本玩具博物館 開館40周年記念誌』 日本玩具博物館
- 『日本の美術3 七宝』 鈴木規夫著 至文堂
- 『尾張七宝図録』 あま市七宝焼アートヴィレッジ
- 『宝玉七宝』 名古屋市博物館調査研究報告V

神戸開港150年の大きな節目の年にちなみ、開港の経緯に触れてみよう。

江戸時代末期、幕府と米国との間で行われた開市(商いをする場所)、開港交渉で、近畿では開市は大坂、開港は堺、と一度は合意した。この時、神戸は含まれていない。

しかし堺を開港した場合の外国人が自由に出歩ける「遊歩区域」の範囲を巡って「極めて複雑な紆余曲折」(神戸開港百年史)を経て、最終的には“補欠”だった神戸で決着した。

米国側は「居留地から10里(約39キロメートル)四方を要求したが、幕府側は和(奈良県)にも及ぶ。御陵視されている」と拒否、開市は大坂のまま、開港地は神戸にお鉢が回ってきた。

神戸の開港地は条約上「兵庫」(現在の神戸市兵庫区)となっているが、実際に開港したのは、すぐ東側に隣接する「神戸」(現在の神戸市中央区)になったのはなぜか。「兵庫」は新開地の西側。奈良時代の大輪田泊以来の歴史がある。豪商の店が軒を連ねていた。攘夷など混乱を恐れた幕府が「神戸地区も兵庫の一部」と諸外国を言いくるめたことと、「神戸」側が天然の良港に恵まれていたことが国際港湾都市・神戸の誕生につながった。

会員だより



今、私たちが出来ること
子どもたちの未来のために



北川 井子 (時習 27)

〇認定 NPO 法人きょうとグリーンファンドの活動に参加して

1997 年、世界各国の政府代表者が日本の京都に集まり、第 3 回目となる、国連気候変動枠組み条約の締約国会議 (COP3: Conference of Parties) を開催しました。この会議において採択されたのが、「京都議定書」という国際条約です。京都議定書は、参加している先進国全体に対して「温室効果ガスを 2008 年から 2012 年の間に、1990 年比で約 5%削減すること」が決められました。“Do you Kyoto?” (環境にいいことしていますか?) という言葉もこの時、生まれました。

この COP3 を契機に“私たち京都に住む市民も、次の世代に豊かな地球環境を手渡すために、何か出来ることしなくては…”と、2000 年 11 月に NPO 法人きょうとグリーンファンドが設立されました。きょうとグリーンファンドは省エネ型の社会と暮らしを目指し、自然エネルギーの普及に取り組むことを活動の中心に、寄付を積み立てた「おひさま基金」を活かし、多くの方々と協力して、環境に配慮した地域づくりの拠点となるおひさま発電所 (太陽光発電設備) を作ってきました。

私自身は、京都市の COP 3 を記念に設立された京エコロジーセンターでの環境ボランティアとしての活動の中で、市民活動にありがちな単なる啓発活動にとどまらず、実際に自然エネルギーを増やす活動をしたいという思いをいただき、2009 年から事務局スタッフとして活動に参加しています。

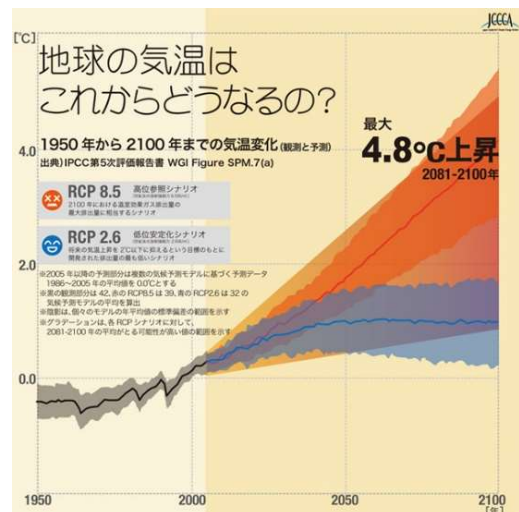
これまでの 16 年間で 21 ヶ所の「おひさま発電所」 (太陽光発電設備総発電規模 165 kW) を設

置し、設備設置だけでなく、同時に設置施設での環境学習を行なうことで、高い効果を上げています。特に保育園などでの未就学児の環境学習は、きょうとグリーンファンド独自のもので、環境腹話術、自然観察会などを行っています。小さな子どもたちが「地球温暖化」や「CO2 削減」などの言葉を覚え、おひさまの恵みの電気を使い、家では、お父さんに「見ないテレビは消しなさい」と注意するなど、「おひさま発電所」とともにエコな子どもたちが育っています。

〇地球温暖化とパリ協定

地球温暖化による気候変動は、今、私たちの暮らしに徐々に影響を及ぼし始めています。今冬の全国的な大雪や、京都でも、桂川が氾濫し景勝嵐山も大きな被害をうけたことは、記憶に新しいところ です。



産業革命以前に比べ、気温上昇が 3℃を上回ると、気候システムが急激、かつ大規模に変わるリスクが増えると言われています。極端に少雨の年



と多雨の年が出現し、水問題は干ばつと洪水の二極化になっていき、時間雨量 100 ミリ以上の豪雨の回数が増加します。海水の温度上昇もし、強大な台風が発生しやすくなると言われています。強大な台風は豪雨や強風はもちろん、高潮による

を発表しています。

その中で、日本が持続可能なエネルギー社会を実現していくにあたっては、基本的に以下の3つを達成していくことが必要と言っています。

<p>【その1】 自然エネルギーの拡大</p> <p>風力、太陽光、バイオマス、地熱などの再生可能エネルギーが、全てのエネルギー需要をまかなう</p> 	<p>【その2】 大規模な省エネの実現</p> <p>大幅な省エネ(節電を含む)を通じて、エネルギーの消費量(需要)そのものを、その利便性を損なわずに、大きく減らす</p> 	<p>【その3】 原発の段階的な廃止</p> <p>原子力発電所の新規増設は行なわない。現在運用されているものは、原則として一般的な寿命と言われている30年がきたら順番に運転を停止・廃炉にする</p> 
---	--	--

危険地帯の増加も懸念されています。海岸沿岸地域では海面上昇による砂浜の減少に加えて高潮のリスクも高まります。これらのリスクは挙げればきりがありませんが、近い将来に起こるであろうこと、私たちの孫世代が経験するであろうことを考えると、今、私たちができることを今一度、考えてみなければ…と思いを強くします。

2015年、フランス・パリで開催された COP21 (国連気候変動枠組条約第21回締約国会議)が、2020年以降の温暖化対策の国際枠組み『パリ協定』を正式に採択しました。合意されたパリ協定の内容は、全体目標として掲げられている「世界の平均気温上昇を2度未満に抑える(1.5度に抑えることが、リスク削減に大きく貢献することにも言及)」に向けて、世界全体で今世紀後半には、人間活動による温室効果ガス排出量を実質的にゼロにしていく方向を打ち出しました。

日本が世界の諸国に先駆けてパリ協定の下で求められる「脱炭素化」を達成することを前提として、WWF ジャパン(世界自然保護基金)が2050年自然エネルギー100%社会の実現に向けた提言『脱炭素社会に向けた長期シナリオ 2017』

○3.11 東日本大震災と東京電力福島第一原発事故

2011年3月に起きた、東日本大震災とそれに続く東京電力福島第一原発事故、それは私たちのような自然エネルギー普及に取り組むNPOにとっても衝撃的な出来事でした。今までの活動は無駄だったのかと無力感さえ感じました。そんな時、福島相馬市から若い漁師さんが京都までわざわざ訪ねてこられました。震災から1年後の2012年3月でした。掛ける言葉も見つからず、ただ、「大変でしたね。」というのがやっと。それに答えて、「ポジティブですから…」とボソッと答えられたのが、それまでの一年間の想像を絶する体験がしのばれました。訪問の目的は、「相馬にもきょうとグリーンファンドのようなおひさま発電所をつくりたい」。津波と原発事故によって漁師としての生活を奪われ、自分たちの出来ることを必死で捜していたのでしょう。原発に代わるもの、それは自然エネルギー…生きる希望をそこに託しているかのような様子でした。

そこからメールや電話でのやり取りが始まり、相馬では彼とその同級生たちを中心にNPO 法人「そうまグリーンアーク」を立ち上げ、被災地でのおひさま発電所設置をめざしました。私たちも2度、相馬を訪ね、設置施設の候補先と折衝を重ねましたが、残念ながら、未だに設置には至っていません。しかし、被災地を訪問し、自らの目で見、お話を聞いたことで、自然エネルギー普及活動に取り組むことの意義を再確認できました。

関西に住む私たちにとっては、原発事故の恐怖も段々と薄れていく中で、いまだに福島第一原発では、650シーベルトというロボットですら近づけない高線量（人が近づくと数十秒で死亡するレベル）が続き、漁師さんたちは、週に一度程度の試験操業しかできずにいます。

そんな中でも、彼らは今、食をテーマに「そうま食べる通信」（食べ物付き情報誌）を発行し、相馬の魅力を発信しようとしています。津波・地震、どのくらい続くかわからない放射能との付き合いの中で、そこから自分たちで立ち上がらなければ、と覚悟を決めた若い人たちを、これからも

応援していきたいと思っています。皆さんも是非、相馬の若者たちを応援してあげてください。

(HP:そうま食べる通信 <http://taberu.me/soma/>)

○今、私たちが出来ること…

私たちは、気候変動の影響を実際に感じる事ができる最初の世代であり、対策を講じることができる最後の世代です。それは私たちの責任でもあります。

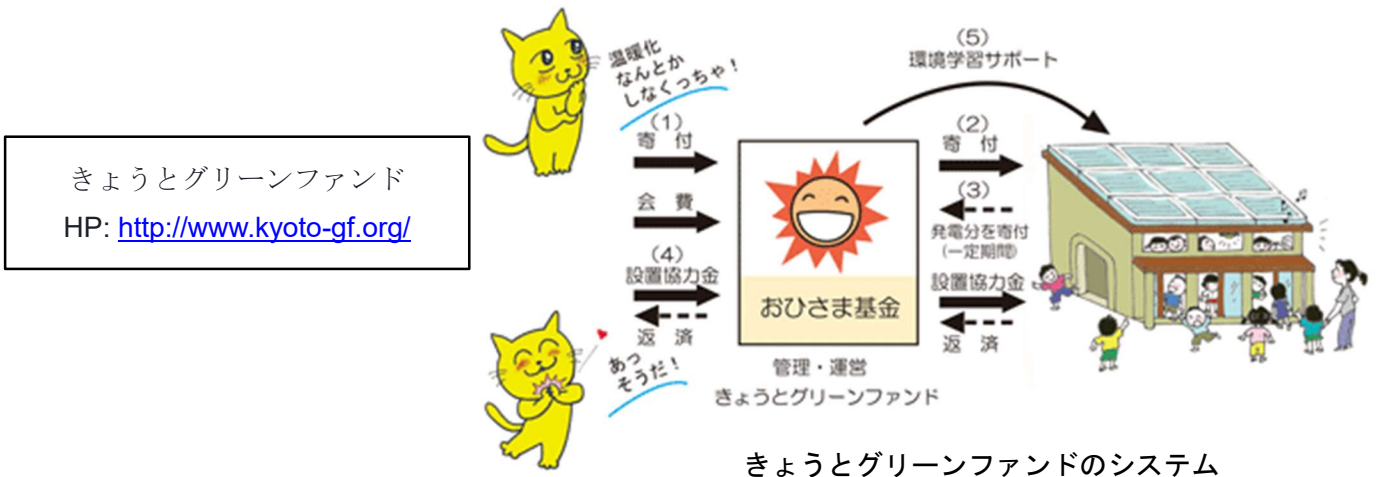
「子どもたちの未来のために、今、私たちに出来ること」を真剣に考えてみませんか？

きょうとグリーンファンドでは、新しいおひさまプロジェクトを始めるとき、皆さんにこうお願いしています。

「皆さんの生活をちょっとだけ振り返ってみてください。ムダな電気、使ってませんか？気づいた方は節電！浮いたお金で、自然エネルギーを増やすおひさまプロジェクトに寄付を！子どもたちに原発も温暖化もない未来を手渡すために！」



FM797 京都三条ラジオカフェで「きょうとグリーンファンド」の活動の紹介をしている写真（筆者は最前列右）



会員だより



オーストラリアと日本



東 孝二郎 (時習 44)

仕事の関係で、2004年から2013年までオーストラリアのメルボルンに駐在しました。



Melbourne Flinders St. Station

卒業生の方々にも多くいらっしゃるかと思いますが、日本から出ることで、日本を外から見つめる貴重な機会でした。



生態は異なるがコアラに近い種族のウォンバット

○オーストラリアの自然と動物

オーストラリアといえば、美しい自然と風変わりな動物など観光名所が多く、さらに英語圏であり、交通ルールも日本と同じ左側通行ですので、非常に暮らしやすい国です。



空からみたグレートバリアリーフ

○オーストラリアの慣習

・時間にルーズ

オーストラリアと日本の違いを並べればきりがありませんが、典型的なのは、時間にとにかくルーズ...いや、おおらかで、宅配便も水道工事も、時間通りに来た試しがありません。工事が納期通りに終われば、逆に手抜きを疑いたくなります。

・ルールに厳しい

片やルールには厳しく、交通ルールや会社の就労規則まで、きちんと守る人が多いです。元をたどれば、ほとんどの国民は移民なので、そういう国家はルールによって成り立っているように思います。

・残業はしない

社会に対する考え方も異なります。まず残業をすることはほぼありません。仕事はまじめで

すが、それ以外の時間をしっかりと楽しんでいきます。

・子育て支援に積極的

妊婦や子連れママにもたいへんやさしく、20代の若者でも積極的に助けてくれます。日本で通勤時間帯に乗ると苦情を言われたり、席を譲らない若者のニュースを見ると、日本の少子化は必然のような気すらします。

○日本の特徴

・正確に届けてくれる宅配便

翻って日本は、ご飯は安くおいしいし、店も多くて24時間営業で、電車も宅急便も完璧過ぎるぐらい時間通りに来ます。宅急便の再配達は無料で、しかも何度でも持ってきてくれます。（メルボルンでは、再配達手数料はおよそ1000円でした）

・安全でやさしい、おもてなしの国

メルボルンもさほど危険ではありませんが、最近では街中で立てこもり事件があるなど、物騒になっているので、安全でやさしく、とにかくおもてなしをしてくれる日本は、観光客にとっては最高だと思いました。

・お膳立てしないと休めないイクメン

一方9年弱の駐在を経て帰国すると、子育てに「参加する」お父さんはイクメンと言われ、政府から残業を減らせと言われるなど、相変わらずお膳立てをしないと休めないお父さんたち（私もそのひとりですが）に、おもてなしは支えられていると思うと、複雑な思いです。

・日本とオーストラリアどちらが

帰国後は「どっちが良い」とよく聞かれますが、正直者なかなか甲乙がつけがたい質問です。



シドニーのハーバーブリッジ

○子どもはメルボルンに帰りたいと

わたしの子どもたちは駐在中に生まれました。出生証明書はありますが、国籍は日本です。両親とも日本人で、就労ビザでしたので、オーストラリア国籍ではありません。



長男と全豪オープン観戦中

上の子が7歳で帰国したので、とてもバイリンガルではありませんが、幼なじみがいることもあり、メルボルンに「帰りたい」と言うようになりました。

親としては複雑ですが、我々の次世代には、日豪のいいところ取りをした社会ができないものかと、願ってやみません。



バスケット部同窓会写真
一時帰国したとき、久しぶりに旧交を温める

会員だより



イワトビペンギン人工繁殖成功への道のり
～世界初の試み～

伊藤 このみ (時習 52)



海遊館では、神戸大学動物多様性教室の楠比呂志准教授と共同で、2011年よりミナミイワトビペンギンの人工繁殖研究を行っています。そして、昨年2016年の6月には、世界初の人工授精によるミナミイワトビペンギンのヒナが誕生しました。今回は、成功までの道のりや研究の裏話についてご紹介します。



海遊館前全景

館ではオウサマペンギン・ジェンツーペンギン・アデリーペンギン・イワトビペンギンの4種類のペンギンを飼育していましたが、研究対象にはイワトビペンギンを選びました。イワトビペンギンはオスの超高齢化とオス・メスの飼育数のアンバランス（オス6羽に対し、メス3羽）で繁殖が停滞していたことが選定理由です。当時は、この研究が自分にとってのライフワーク的な存在になるとは思っていませんでした。

○人工授精は精液採取から

初めの課題はオス鳥からの精液採取とイワトビペンギンの繁殖メカニズムの解明です。そもそも精液が取れなければ人工授精はできません。世界的にみてもペンギンの精液採取については、マゼランペンギンについての論文が1本あっただけで、この他には情報が全くありませんでした。ニワトリで行われている精液採取方法を試したり、キジやツルの精液採取を姫路動物園、天王寺動物園へ見学に行ったり、ペンギンの交尾を観察してそれを模倣したり。鳥は周りが暗いと大人しくなるということで、頭からすっぽりと黒いタイツをかぶせたりもしました。黒いタイツをかぶったペンギンは、今思い出しただけでも笑ってしまいますが、当時はとにかく精液を取ることに必死だったのだと思います。保定（動物の治療などをする際、動物が動かないようにおさえること）の方法を工夫し、キジでの精液採取方法を導入することで何とか精液採取には成功しました。

○イワトビペンギンの飼育担当に

そもそも人工繁殖研究を始めたきっかけは、獣医の上司からの依頼でした。楠先生と繁殖の共同研究を始めるということで、上司はカワウソ、私はペンギンについて取りかかろうと、そのくらいの簡単な話から始まりました。2008年に入社してから3年間、ペンギンの飼育担当もしていたのでペンギンについては特別な思い入れがありました。ちょうどペンギンの担当から離れてしまったので、何かペンギンに関わる研究ができたらと思っていた矢先でした。海遊

○繁殖メカニズムの解明

次は繁殖メカニズムの解明です。海遊館でのイワトビペンギンの繁殖シーズンは、4月から5月。1回の繁殖シーズンにメスは卵を2個産みます。しかし、人工授精を成功させるうえで一番重要なポイント、「いつ交尾をして、いつ受精するのか(受精適期の推定)」このタイミングが分かりません。そもそも、「いつ卵を産むか(産卵日の推定)」これも重要なポイントです。人間の場合は、血液や尿中のホルモン、生理周期、体温の変化などで排卵日が特定できます。ペンギンもこれを知る必要があったのです。これまで、鳥類の人工授精は1卵目を産んだ後、2卵目以降の受精を狙って精液をメスの体内に注入してきました。ですので、産卵日の推定も受精適期の推定も必要ありません。1卵目を産んだら精液を注入すればよいのです。ではペンギンも同じように1卵目を産んでから人工授精をすればよいのか？答えは「NO」です。これは、ペンギンを飼育していれば、誰でも分かる答えです。ペンギンはメスが卵を産むと、ペアのオスと交代しながらその卵を大切に温めます。そして1卵目産卵の約3-4日後に2卵目を産卵します。しかし、1卵目の卵を温めながら交尾をするペンギンの姿は一度も見たことがないからです。ということで、1卵目を産んでから人工授精をしても2卵目の受精には間に合わない、1卵目を産む前に人工授精をする必要がある、ということです。まず「受精適期の推定」のため、ペンギンの巣の上にビデオカメラを取り付け、「いつ交尾をしたか」を24時間観察しました。受精卵が得られた場合と得られなかった場合で交尾のタイミングを比較し、受精適期を推定しようというものです。24時間観察、簡単に言いましたがそれはもう大変な作業です。1日分のビデオを見終わるのに早送りでも約2時間、飼育の仕事の合間になんとか時間を作って行きます。飼育担当からは悲鳴の声です…。それを継続すること6年、交尾の観察から1卵目の受

精適期は産卵の15-7日前、2卵目の受精適期は1卵目産卵の10-5日前ということが分かってきました。

○産卵の4日前に排卵が起こることが分かる

そして「産卵日の推定」のためには、血液生化学値と血液性ホルモン値の測定を行いました。繁殖シーズンに入ってから週に1-2回ペンギンから血液を採取し、各値を測定します。研究を開始した当初は、これまた飼育担当からは悲鳴、というより怒りの声です。週に1-2回もペンギンを捕まえて血液をとるなんて、ペンギンに負担が大きすぎる…。捕獲のストレスで卵を産まなくなったらどうするんだ…。ここまでして本当に良い結果が出るのか…。これは獣医と飼育担当でよくある意見の相違です。獣医としてはきちんとしたデータが欲しい。飼育担当は自分の飼育動物のことが心配。両方ごもっともな意見です。ケンカ状態の私と飼育担当を、共同研究者の楠先生が上手く仲介してくれ、非常に有効なデータを得ることができました。血液中のカルシウム、中性脂肪、リンの値が産卵の約1カ月前から直線的に増加することがわかったのです。この増加を追えば、精密に産卵日を推定することができました。産卵が近くなってからは超音波検査機器(エコー)を使って、お腹の中で卵ができていく様子を観察しました。エコー検査の結果から、産卵の4日前には排卵が起こることが分かりました。



抱卵する親鳥

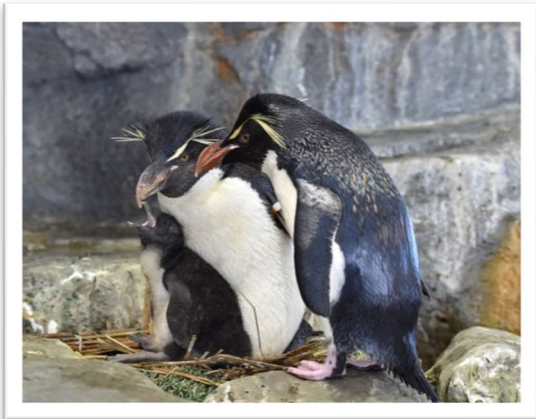
○人工授精を実施し、後は結果を待つ

交尾観察による受精適期の推定と血液検査による産卵日推定、この両方の結果を併せて人工授精のタイミングをはかる、そして採取した精液をメスの卵管内に注入する。2016年にはよりよい性状の精液を注入しようと、東京の葛西臨海水族園まで行き、そこで飼育されているペンギンの精液を採取させてもらい人工授精を実施しました。あとは結果を待つのみです。

研究を開始して6年。実は、この間にはプライベートの面でも一波乱ありました。ケンカばかりであったペンギンの飼育担当と縁あって結婚。2人の子どもにも恵まれました。楠先生と夫婦2人3脚？正確には3人4脚で歩んできた研究でした。ペンギンの繁殖シーズンになると、仕事場でも家でも人工繁殖の話ばかりです。楠先生には3人目の子室に恵まれる前になんとかペンギンの人工授精の成功を！とも言われていました（笑）。

○人工授精ヒナ誕生…「世界初」

そしてついに2016年6月、待望の人工授精ヒナが誕生しました。DNA検査の結果は、早朝6時頃、楠先生からの電話連絡で知りました。その時は、家中で大喜び！嬉しい気持ちはもちろんでしたが、成果が出てほっとした、というのが一番でした。その後、テレビや新聞で、「世界初！イワトビペンギン人工授精成功！！」のニュースが大々的に報道されました。



人工授精ヒナ

古くからの友達や、仕事関係の知り合いの方だけでなく、子供が通う保育所の先生や病院の看護師さんからも、「ニュース見たよ。すごいね」と声をかけていただきました。水族館で行っている種の保存に関する研究を皆さんに知っていただけて、本当に嬉しい気持ちで一杯でした。

人工授精成功から2か月。共同研究者である楠先生が他界されました。楠先生の指導でここまでやってこられた研究です。なかなか成果が出ずに意気消沈している際に、「まだこれから！着実に成果は出ています！これは世界的に価値のある研究です！」と背中を押し続けてくれたのは先生でした。ケンカをしている私たち夫婦2人を取り持ってくれたのも先生でした。

○いつかは野生のペンギンから

先生亡き後、どのように研究を継続していくか、不安しかありませんが、生前先生も仰っていた、

「いつかは野生のペンギンから精液を採取し、飼育ペンギンに人工授精を」を実現するべく、これからも研究に精進していこうと考えています。7年目の2017年、次の目標は一度凍結した精液を用いた人工授精の成功です。凍結保存ができれば、海外で飼育されているペンギンの精液、もしくは野生のペンギンの精液を用いた人工授精も夢ではなくなります。また、現在生存しているペンギンの精液を未来に残すことも可能です。まだまだ、課題はたくさんありますが、夫婦2人、そして海遊館スタッフ一丸となってこの研究を継続していこうと思います。



編集委員会より：筆者のご主人紹介

奈良の自宅に戻り、夫と娘と私の3人での生活は最初こそ不安がありました。娘の日々成長していく姿をゆっくり子育てしながら見ていられてとても充実した毎日を過ごしていました。娘が1歳になってしばらくして、お腹に二人目の赤ちゃんがいることがわかり、娘が1歳8か月のときに息子が生まれました。しかしまたここで大きな問題が。1歳8か月の娘には、息子の存在が受け入れられず、寝ている息子を常に狙い、隙を見つけて攻撃する毎日。本能剥き出しの状態は数か月続きました。このままずっとこの状態が続いたらどうしよう、と本当に悩みました。しかし徐々に攻撃する回数が減り、「弟」の存在を受け入れられるようになり、気付いたら今では仲良しです。あのときのあの状態はなんだったのか、と今では思うくらい当時は大変でした。しかしあのときがあったからこそ、弟の存在が可愛いと思えるようになったのだと思います。

○何にも代え難い子どもの笑顔

子育ては思い描いていたものとは違い、わからないことだらけで失敗もたくさん。イライラしたり怒ってばかり。そんな自分が嫌になることもあります。子どもたちの笑顔はそんなものを吹き飛ばす力があるんですね。



和歌山アドベンチャーワールドへ
家族四人で初めての旅行

娘の名前は「杏奈」といいます。「杏」の漢字は「口」の上に「木」があります。娘の発したそのことばが、周囲の人を木のごとく成長させ

実を与える。「奈」を分解すると「大」と「示」。娘のことばや行動が人の道標となるように。息子は「瑛都」といいます。「瑛」は光る玉のようにキラキラした人生を、そして「都」はこの子のまわりにたくさんの人が集まってくるように。二人ともそんな意味を込めて名付けました。その名に恥じぬよう、たくさんの愛情で二人を育てていきたいと思います。子育てはまだ始まったばかりで、これまでに経験した悩みや苦労はちっぽけなものに過ぎないのかもしれませんが。



豊橋動物園にて
この笑顔に救われます

○今年の4月から保育園へ

4月からの私の職場復帰のため、3月から子どもたちは保育園へ。もう少し大きくなるまで自分の手元に置いて二人の成長を見守りたかったのですが、現代の社会事情ではなかなかそうもいかないのが現状です。働きながら子育てをするということはまだ今の私には不安でしかありません。しかしこれから先、何かに悩んだりつまずいたりしても、子どもたちに出会えたときのあの感動と喜びがあればきっと乗り越えていけるような気がします。何より、その一瞬一瞬を大切に、楽しんで子育てをしていこうと思います。

会員だより

大石由紀子氏（時習 10）の業績
長年の福祉活動が認められる



公益財団法人 日本社会貢献支援財団より
平成 27 年度社会貢献者表彰を受賞

写真は 2015 年 12 月 1 日、帝国ホテルにおける社会貢献者表彰式典
中央が大石氏、左側は三笠宮瑤子殿下

○国際保護司として 50 年

人身売買の根絶を目指して、半世紀にわたり国際的な活動を続けてきた。国連アジア極東犯罪防止研修所保護司として活躍する傍ら、人身売買の世界顧問議会バイタルボイスで初の日本人メンバーとなった。2004 年には大阪米国総領事館で開催された「人身売買の根絶」をテーマにした講演会と参加者とのディスカッションにおいて、在日米大使館労働参事官のアン・カンバラ氏との対談では「日本の場合は人身売買に対する刑が甘い。きちんと法律で解決できるケースは非常に少なく、今後、それ相当の対応が必要になってくる」との意見を述べた。「取り締まり強化や被害者保護に重点を置き」わが国でも、国際的ルールを取り入れるきっかけにもなった。他にも、Newsweek「世界が尊敬する日本人」の一人として、坂本九や尾形光琳らとともに取り上げられた。

社会貢献者表彰 推薦の言葉
推薦者：兵庫県議員 芦田賀津美

神戸市で昭和40年から自宅で英語教室を開く傍ら、平成12年に保護司として活動していくなかで、外国人を金銭で売買し、売春を強要されたり、地域での教職員や公務員による女性・障がい者への性犯罪がややもすると隠蔽されたりすることに心を痛め、自宅に「Oishi サポートセンター」を開設、被害者の女性の心のケアを担ってきた。国内ではソロプチミスト会長としてそのような活動報告を続ける中で、国内外の様々なネットワークにより、広報・啓蒙活動を続け、国際的な活動を行っている。国内外での人身売買防止に向けての法律改正や各種機関の設置が徐々にではあるが進みつつある。

●推薦者：兵庫県議員 芦田 賀津美

Newsweek の記事

Yukiko Oishi

大石由紀子 人身売買の外国人被害者のための相談窓口「Oishiサポートセンター」を神戸の自宅に開設。公的保護施設や支援組織への仲介だけでなく、被害者の心のケアにも取り組む。

日本画家としての顔も持つ…

Discover the Kobe Genius Artists Project

第12回 入選アーティスト



大石 由紀子 (おおishi ゆきこ) <日本画家>

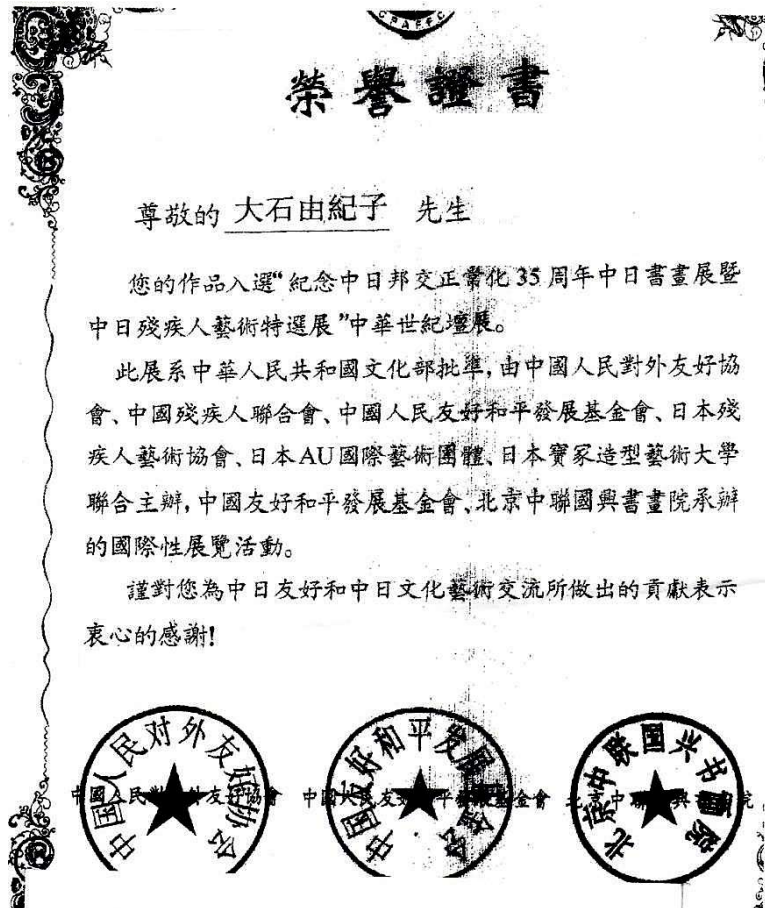
1939年愛知県生まれ。日本画家 故伊東深水氏に師事し、日本画を学ぶ。岐阜県で英語教師を務めた後、結婚を機に兵庫県神戸市へ移り住み、自らの経験を活かし英語塾を開校。そこに通うある外国人生徒から悩みを聞くうち、その親が管理売春の被害に遭っていた事がわかり、それをきっかけに被害女性の支援に乗り出し、50年以上の長きに渡り人身売買や性犯罪被害者の自立支援を行ってきた経歴を持つ。女性の強さ、美しさを描いた作品は海外での評価も高く、ブラド美術館やルーブル美術館への出展も果たし、現在も継続して精力的に創作活動を続けている。



作品名 華やぐ娘(左) 慈悲(右)

作品の説明・見所 特に尼僧と赤子を描いた「慈悲」という作品に代表されるように、女性のもつ美しさと、日本画の美しさを兼ね備えた作品づくりを目指しています。年齢や性別に関わらず、積極的に活動する私の姿を見て、女性や子供など社会的に弱い立場にある方々に勇気や安らぎを与える事ができれば良いと思います。

日中国交 35 周年記念に日本画展
中国政府より表彰される
H19.7.25~7.30 まで北京滞在



支部便り

活動報告他





JKL, JNL 合同行事 「近江商人の歴史に触れる旅と水郷めぐり」

片岡 聡子 (時習 14) & 峯島 望美 (時 44)

JKL と JNL が親睦を深めて初めての合同行事が近江八幡で行われました。関西と名古屋の間で企画しましたが、どちらからもちょっと遠くて。本部から清水副会長、JNL から 15 名、JKL から 21 名、総勢 36 名+1 歳の赤ちゃんが参加しました。

豊臣秀次が築いた八幡山城の城下町として作られた近江八幡は、京都と北陸の中継地点で、琵琶湖と八幡堀運河の水運を利用して伊勢や敦賀方面との交易、また陸路は中山道と朝鮮人街道など多くの道が交差する街道の街でした。

日本全国を商圈として海外にも活躍の場を拡大していった近江商人の屋敷や土蔵が沢山残されています。日本経済の中核を築いた大商人たちのお屋敷はどっしり落ち着いた佇まいでした。

「売り手よし、買い手よし、世間よし」の三方よし、陰徳善事、始末して気張る、薄利多売、謹厳実直、これら近江商人語録は繁栄の基軸、保護主義的傾向が世界に広がる昨今において、心すべき教えかと思えます。

11 時から 4 グループに分かれてボランティアガイドさんと歩きました。郷土資料館から朝鮮人街道を通り（重要伝統的建造物群保存地区）」を北上、中山道を横切って、八幡堀（重要文化的景観）散策、白雲閣、日傘禮八幡宮参拝。歩くこと 1 時間半。雨が強く、足下ずぶ濡れ、気がつくとも体が冷え切っていました。が、さすが時習館の方たちは熱心にガイドさんの話を聞きながら歩い

て下さいました。

13 時、料亭で昼食。伊藤 第 20 回参加者の皆さん JNL 田中さんなどからスピーチをいただき、和やか会食で心も体も暖まりました。

14 時半から 4 舟に分かれて重要文化的景観に選ばれた近江八幡水郷めぐりに豊年橋を出発。船頭さんはボランティアで定年退職後始めたとのことでした。胸で漕ぐ人、腰で漕ぐ人、いろいろとのことでした。群生するよしの間をゆっくり抜け出ると遠くに八幡山が墨絵のように霞んでいました。青空も紅葉も無かったけれど、風が無く煙ったような小雨の中の趣ある舟遊びでした。

15 時半、下船後、歩いて 2~3 分の「たねやくらぶはりえ」でお土産買い、解散。実は 2009 年の JKL10 周年も近江商人の街を訪れています。このときは五個荘町でした。10 年以上に渡る JKL と JNL の交流は親密になり大切な先輩、後輩になりました。男性陣にはいつも応援していただいで感謝しています。



よしの間を進む手こぎの和舟
近江八幡水郷めぐり

JKL・JNL 合同行事「近江八幡の旅」に参加された峯島さんより感想が寄せられています。

～時を旅する近江八幡～

平成 28 年 11 月 27 日、JKL・JNL 合同行事「近江八幡の旅」に参加させていただきました。家族揃っての参加となり、1 歳の娘も同行いたしました。しかしながらこの日は生憎の雨…早速の近江八幡街並散策に 1 歳児とともに果敢にチャレンジいたしました。開始 10 分ほどで水たまりに躊躇無く突っ込んで行く娘本人は地図を片手にやる気満々だったのですが、泣く泣くりタイヤとなりました。歴史深い街並に後ろ髪ひかれつつ、駅前のイオンに直行、レインコートと長靴を調達し、「水郷めぐり」にはなんとか参加させていただきました。

雨に煙る水郷巡りはとても風情があり、静かでゆったりとした時間を楽しむことができました。暗い雨空に群生するヨシの素朴な風景は水墨画のようでした。その中を船に揺られていくと、タイムスリップしたような気持ちになります。娘も初めての船に大喜びで、ゆらめく水面を眺め楽しんでおりました。

この旅で歴史溢れる近江八幡の魅力を知ることができました。街並散策の再チャレンジを含め、ぜひまた訪れたいです。小さな子連れ参加だったにも関わらず歓迎していただき、同窓生の皆様の優しさに感謝いたしております。ありがとうございました。

44 回 峯島望美



「近江八幡の旅」に参加した
峯島さんとの娘さん（1 歳）



街並散策に：峯島さんの娘さん（1 歳）



集合写真：水郷めぐり、舟発着場にて

支部活動



「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」

報告ならびにお知らせ
ゴルフ会幹事 山村 信哉 (時習 17)



2016年のゴルフ会の報告です。6月と12月に「ゴルフ会」を開催いたしました。

若手の新加入もあり、盛り上がってます。

○ 第31回 (2016年6月4日)

於 愛宕原ゴルフ倶楽部

《参加者》

- 石川吉之助 (時 12)、松尾英城 (時 13)
- 花井俊作 (時 17)、 山村信哉 (時 17)
- 河合行朗 (時 20)、 岡田順子 (時 20)
- 鈴木省三 (時 21)、 利根川躍 (時 21)
- 藤井順子 (時 28)、 近田 昇 (時 35)
- 清水大志 (時 56)

	中	西	GROSS	H・D	NET
優勝	48	42	90	22.0	68.0
2位	50	47	97	25.6	71.4
3位	56	56	112	40.0	72.0
4位	41	40	81	8.8	72.2
5位	46	42	88	14.8	73.2
6位	59	58	117	43.6	73.4
7位	55	50	105	28.0	77.0
8位	55	53	108	30.4	77.6
9位	54	54	108	29.2	78.8
10位	60	48	108	29.2	78.8
11位	62	57	119	40.0	79.0



平日開催を盛り込むことを検討することといたしました。

○ 第32回 (2016年12月17日)

於 愛宕原ゴルフ倶楽部

《参加者》

- 石川吉之助 (時 12)、松尾英城 (時 13)
- 山村信哉 (時 17)、岡田順子 (時 20)
- 河合行朗 (時 20)、利根川躍 (時 21)
- 藤井順子 (時 28)、近田 昇 (時 35)



第31回参加者の皆さん



第30回参加者の皆さん

	中	西	GROSS	H・D	NET
優勝	45	42	87	16.0	71.0
2位	50	47	97	25.6	71.4
3位	47	46	93	19.6	73.4
4位	45	46	91	16.0	75.0
5位	62	53	115	40.0	75.0
6位	58	55	113	37.6	75.4
7位	60	65	125	48.4	76.6
8位	58	56	114	35.2	78.8

事務局から

お知らせとお願い



時習館同窓会関西支部事務局よりのお知らせ

平成28年度の役員として、健康上の理由から副支部長の石田天祐氏（時14）及び主なる居住地区変更に伴い丹慶太氏（時35）が勇退。新たに河合行朗氏（時20）、鬼本英太郎氏（時27）近田昇氏（時35）に理事として参画していただくことが決まりました。この紙面を借りてご報告いたします

時習館同窓会関西支部規約

1. (名 称) 本会は時習館同窓会関西支部という。
2. (目 的) 本会は会員相互の親睦を計ることを目的とする。
3. (事 務 局) 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-14-1
山本通産株式会社内（代表者 石川 吉之助）に置く。
4. (会 員) 本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者とする。
5. (役 員) 本会に次の役員をおく。

支 部 長	1 名
副 支 部 長	若干名
理 事	若干名（うち1名を会計とする）
監 事	若干名
6. (役員任期) 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。
7. (役員選任) 役員は総会において選出する。
8. (役員職務)
 - (1) 支部長は本会を代表し、会務を報告する。
 - (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。
 - (3) 理事は支部長・副支部長とともに本会業務の運営にあたる。
 - (4) 監事は本会の会計監査にあたる。
9. (総 会) 総会は毎年1回開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。
総会は支部長が招集する。
総会に提出し、その承認を受けなければならない事項は次のとおりとする。
 - (1) 前年度の会務及び収支決算報告
 - (2) 新年度の収支予算
 - (3) 役員選任
 - (4) 規約の改廃
 - (5) その他の重要な事項
10. (理 事 会) 理事会は、支部長の招集により開催し、本会の運営および企画の審議にあたる。
理事会は総会にかかわって必要事項を議決することができる。但し、その内容を総会に報告しなければならない。
11. (議 決) 会議の議決は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
12. (経 費) 本会の経費は、会費、賛助金、寄付金およびその他の収入金をもってこれにあてる。
13. (会 計 年 度) 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終る。
14. (規約の変更) この規約は総会の議決によって変更することができる。



会員の動静

《お亡くなりになられた方》ご冥福をお祈りいたします

☆豊43 兼松 弘 ☆時3 外山 良三 ☆時4 四方 猛 ☆時9 鈴木 正弘

2013年度発行の時習館同窓会会員名簿に記載されている関西在住者の内、転居されたと思われる、その後の住所が不明な方のリストを記載いたします。

住所不明者リスト

<u>時3～時20</u>	<u>時21～時30</u>	<u>時31～時40</u>	<u>時41～時50</u>	<u>時51～</u>
中島 山奇 (時 3)	水野 時男 (時23)	川村 達朗 (時31)	今泉 博文 (時41)	阿部 太一 (時52)
前田 康宏 (時 7)	竹内 光一 (時24)	小早川泰之 (時31)	大隅 正彦 (時42)	太田 直道 (時52)
小森 久枝 (時11)	若原 俊子 (時24)	小西 宏昌 (時33)	太田 陽子 (時43)	黒田 愛 (時55)
武田 久子 (時11)	久野 良孝 (時25)	河村 敬夫 (時35)	大林 靖明 (時43)	梅田 浩明 (時56)
金沢 範子 (時12)	鈴木 克実 (時25)	木下 専 (時35)	清位 靖子 (時43)	野澤はづき (時56)
大竹 宏明 (時15)	佐久間貴彦 (時26)	米虫 清子 (時35)	斉藤 聖己 (時43)	中田 晃愛 (時56)
馬場 一代 (時15)	松井 茂記 (時26)	國松 真樹 (時36)	田中 真人 (時43)	宮森 善隆 (時57)
厚地 正伸 (時17)	井上 尚 (時27)	助野 純久 (時36)	伊藤 資泰 (時44)	横田 幸介 (時58)
中村加代子 (時19)	松本 富夫 (時27)	引地 和豊 (時38)	鈴木 博成 (時44)	村松 亜紀 (時59)
澤田 眞理 (時20)	尾崎 雅則 (時30)	大沢 立弥 (時39)	寺澤 裕司 (時44)	
三輪 邦興 (時20)	宮野 一成 (時30)	竹中 規代 (時40)	矢野 裕司 (時44)	
			石部 秀樹 (時46)	
			松葉千登勢 (時46)	
			山原 友恵 (時46)	
			伊藤 靖幸 (時47)	
			太田有希子 (時48)	
			成岡 浩子 (時48)	
			早戸 容子 (時49)	
			廣田 起子 (時49)	
			松村 憲 (時50)	

上記会員の方々の動静をご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡下さい。

注： 従来、住所変更された方の新しい住所を記載していましたが、プライバシー保護のこともあり、ここでの記載を差し控えます。

皆様ご存じのように関西支部設立50周年の記念事業の一環として『時習館かんさい』17号から19号にかけて豊中、時習館の卒業者名簿を順次掲載しました。会員同士の親睦・交流をより一層深めていただくのが目的で、個人情報保護という点にも配慮しながら、分かる範囲で掲載するよう心がけました。

一連の名簿や変更情報などをご覧になって、あなた自身はもちろん、お知り合いの方に関し、記載事項に間違いを発見されたら、ご面倒でも事務局（山本通産株式会社内 石川支部長）または山村編集委員長まで郵便、FAXまたはEメール（宛て先は『時習館かんさい』表紙右上参照）でご報告願います。

今回の名簿に限りませんが、あなた自身がいずれかへ入学、就職、転任、転居の際、または改姓・改名の時もお知らせくださるようご協力をお願いいたします。

その時は次の6点を明記してご通知ください。

①卒業年次 ②氏名（旧姓も） ③郵便番号 ④現住所 ⑤職業または勤務先（所在地・屋号・職務など）あるいは卒業または在学学校名（詳しく科別も記入） ⑥（公開してもよい）電話番号か携帯電話番号

この名簿は会員相互の親睦と理解を図る目的で編集しています。個人のプライバシー保護には支部としても充分注意しておりますが、会員の皆様も取り扱いにはくれぐれもご注意ください。同窓会関係以外の第三者に閲覧させたり、交付することは絶対にしないでください。

今年も先輩から温かい援

（2017年4月1日現在）

賛助金 223,000円

今年度も卒業50年を経た先輩方から温かい援助の手が差しのべられています。現時点で、賛助金が83人の先輩から寄せられました。本当にありがとうございました。（賛助金の総額は4月1日現在で、監査後寄せられた分は加えられていません）

「後輩たちを元気づけてやろう」というお気持ちで充分です。今後ともどうぞよろしく願いいたします。

『時習館かんさい』へ投稿してみませんか

自分の書いた文章や写真が冊子になって同窓生の手許に届くと考えるとワクワクしてきませんか？最近感動したこと、学生時代を振り返ってみて思うこと、こんな活動をしています、こんなイベントに参加しました、最近こんなことを考えています、など、気楽に書いて『時習館かんさい』へ是非ご投稿下さい。

📄原稿：1頁1600字程度が目安です。

「手書き」「ワードかテキストで入力したもの」いずれもOKです。

📷写真：「顔写真」と「文章と共に掲載する写真」を、原稿と共に送り下さい。

簡単な写真の説明もぜひ添えて下さい。

📄1頁も書くのはなあ...短い文章なら書けるよという場合は、「私の1枚!」のようにお気に入りの写真を紹介していただくような形式もOKです。

原稿、写真は1月末ごろまでに、「Eメール添付」「郵送」「FAX（写真は郵送かEメール添付で）」で、編集委員長まで送り下さい。

〒665-0042 宝塚市逆瀬台1-11-4-1312

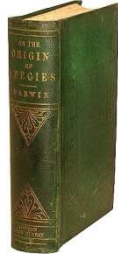
編集委員長 山村 信哉

TEL & FAX: 0797-74-4858

E-mail: nobu8yama@rose.sannet.ne.jp

（時習館同窓会関西支部役員一同）

編集余話



進化への道

～遺伝子スイッチの存在～



○進化に遺伝子スイッチが存在

2017年3月17日(金)日本経済新聞の33面「かがくアゴラ」に、『鳥は恐竜から進化して生まれたが、進化するうえで新たな遺伝子を獲得する必要がなかった。「手持ちの遺伝子の使い方を変えることによって鳥類は生まれたいらしい」(国立遺伝子研究所研究員 関亮平氏)との記事が載った。恐竜には、もともと保有している遺伝子を働かせるか働かせないかのスイッチ機構があって、その機能の制御で、鳥に進化したと考えられるとのことである。

これは、きわめて興味深いことのように思える。「自由な発想」からすると、夢物語、妄想の世界が広がってくる。

○進化に2種類の道があるのかもしれない

生物の進化には環境に対応するのに、新たな遺伝子を獲得する場合と前から持っていた遺伝子の制御(どの遺伝子を有効に活用するかをコントロールする)によるかの2種類があるということになる。

進化にこの2種類があるとすれば、遺伝子獲得は極めてまれな現象で、突然変異を含め論理的に説明し難いが、あらかじめあった遺伝子の生かし方で進化を決めるのであれば論理的、科学的な気がする。

かなり多くの生物の進化は、そのスピードや個の違いを考えると、もともと、それぞれ必要な遺伝子を持っていたと考えられる場合が多くあったのでは。例えば、無脊椎動物から脊椎動物が生まれる過程は、新たな遺伝子の獲得があったかも知れないが、ホモサピエンスとネアンデルタール人では遺伝子

は変わらず、そのスイッチ制御によるとか、また、サルとヒトではどうであったのか等の疑問が湧く。

○進化論の未解決部分に光を当てるのか

なぜこれが重要かという、進化論では進化のプロセスが明確になっていない。そのため、いまだ進化論は完成していないと言われている。

進化の2種類が解き明かされれば、突然変異に頼らざるを得なかった進化論が、また日の目をみるきっかけになるかも知れない。

○人も将来、遺伝子スイッチが作動するか

人でも同じことが言える。人が保有している遺伝子で、まだ顕在化していないものがあるのだろうか。あるとすれば、将来、人の進化を推察することが可能である。

例えば、人が宇宙を手に入れた時、新たな遺伝子にスイッチが入り、思わぬ進化の道を歩む。漫画の世界「自由な発想」を許していただけるなら、宇宙世界で交信するには、新たな進化が必要だ。将来いつか、テレパシーによる交信が現実化する。そんなマンガの世界が、単なる空想ではなくなるのかも知れない。

「神戸総会余話」末尾に載っている歴史年表をながめながら、編集委員会でこんなことが話題になった。慌ただしい束の間の会話であった。

編集委員会

